

【注】

資料には令和7年度予算の内示額が掲載されていますが
3月市議会の議決を経て、正式に決定されるものです。



地域まちづくり未来事業計画

《 櫛引版 》



鶴岡市櫛引庁舎
令和7年3月現在

目 次

1	地域まちづくり未来事業計画について	P1
	(1) 策定の趣旨	
	(2) 計画期間	
	(3) 計画の位置付け	
	(4) 財源について	
2	櫛引地域の振興方針と施策の方向について	P3
3	櫛引地域の実施事業について	P4
	櫛引地域まちづくり未来事業一覧	
	個別事業資料	

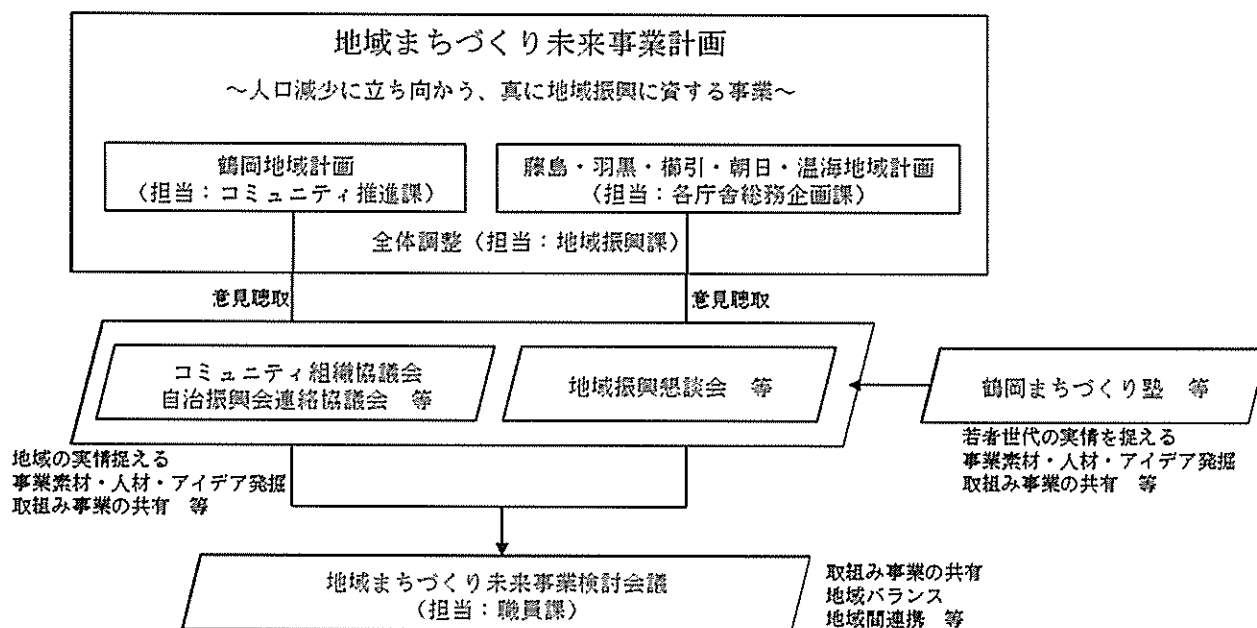
1 地域まちづくり未来事業計画について

(1) 策定の趣旨

「地域まちづくり未来基金」の設置目的である「地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展」を図るため、「人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する」事業を地域まちづくり未来事業として実施することとし、これを地域まちづくり未来事業計画の中に位置づけ明らかにします。

地域まちづくり未来事業計画に基づいて地域ごとに事業を実施することにより、魅力あるまちづくりを推進するものです。

また、策定にあたっては、全ての地域が個性を発揮し、その魅力を高めるとともに、人材を育成していくまちづくり活動を活性化できるよう、各地域振興懇談会や鶴岡まちづくり塾、地域まちづくり未来事業検討会議など、様々な場面において地域の意見を伺い反映しています。



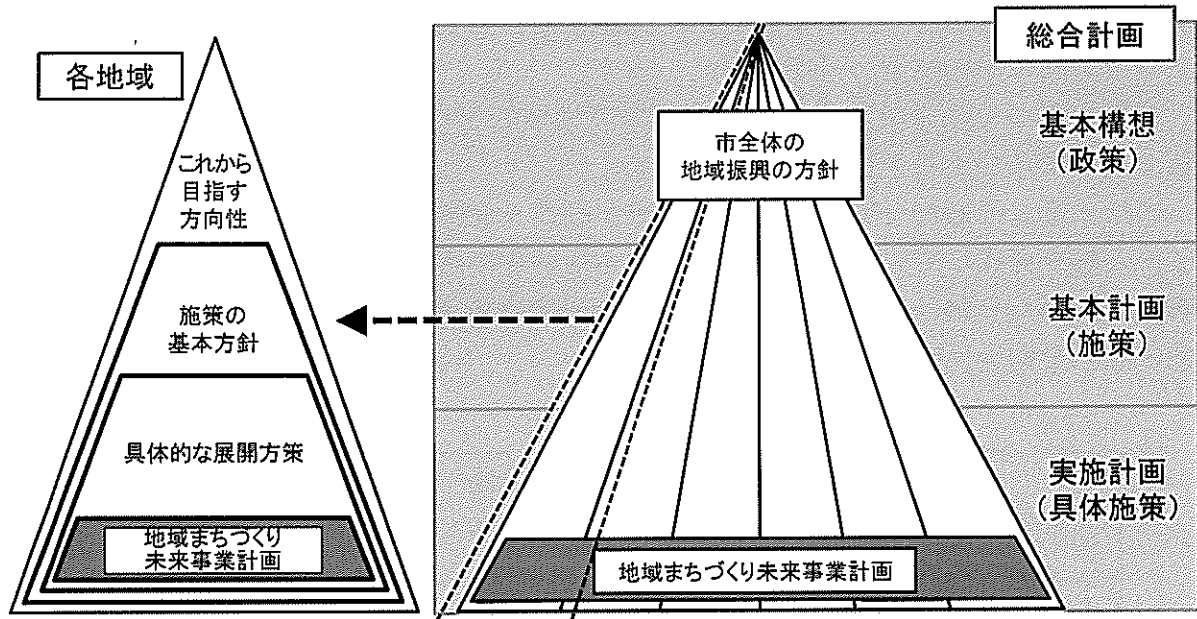
【地域まちづくり未来事業計画策定のイメージ】

(2) 計画期間

平成31年度から概ね3年程度とし、年度ごとに見直しを行います。

(3) 計画の位置付け

地域まちづくり未来事業は、第2次総合計画【計画期間：2019年度（平成31年度）から10年間】及び各地域の地域振興計画【計画期間：2019年度（平成31年度）から5年間】において、地域振興の方針を実現するためのより具体的な施策として位置づけられます。



【総合計画と各地域振興の方針・地域まちづくり未来事業計画の関係】

(4) 財源について

地域まちづくり未来事業は、主な財源として「地域まちづくり未来基金」を充てるほか、交付税措置の起債の充当のほか、活用できる国・県等の交付金なども活用します。

2 櫛引地域の振興方針と施策の方向について

地域振興の基本方針

櫛引地域は、本市を代表する果樹の生産地であり、黒川能をはじめとする伝統芸能や、丸岡城跡及び加藤清正墓碑などの歴史遺産が数多く残る地域です。さらには、中央を南北に貫流する赤川や庄内が一望できる中山間地など豊富な地域資源を有しています。これらの特性を生かすことで、たくさんの人々が集い交流するにぎわいの創出と、地域住民が将来にわたって物心ともに豊かに暮らせる活力ある地域づくりをめざします。

櫛引地域における果樹生産の特徴である多品目生産と、観光果樹園や産直などの取組を生かし、「フルーツの里」としてのブランド化を図ります。また、農業体験など体験型観光の環境を整備し、都市部との交流人口の拡大を図るとともに、様々な地域資源を活かしながら、周辺地域との連携による広域観光圏の形成を推進します。

黒川能を始めとする貴重な伝統芸能や歴史文化の保存と継承を支援し、情報発信や観光連携を進め、地域の活性化につなげます。

少子高齢化や人口減少などを見据え、住民の暮らしを守るための、地域コミュニティの維持活性化と、健康で安全安心な生活が送れる仕組みづくりを進めます。

施策の方向

ア フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上

○施策の方向

櫛引地域の果樹生産の強みである多品目生産の特性を生かしたブランド化により、持続可能で経営力のある産地形成を目指すとともに、農業体験など体験型観光を推進し都市部との交流人口の拡大を図ります。また、出羽三山や加茂水族館等の鶴岡の大きな観光資源を核としながらも、近隣地域との連携による広域観光圏の形成を推進していきます。

○主な施策

- ①果樹生産基盤の強化の推進
- ②フルーツの里ブランド化の推進
- ③体験型観光産業の振興
- ④地域資源を活用した観光振興の強化

イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進

○施策の方向

黒川能などの貴重な歴史文化を保存伝承していくため、地域全体でその価値を共有し、時代の変化に合った伝承の方策を探りながら新たな地域活動へつなげていきます。また、歴史文化の資源や遺産を活用した集客や利用拡大を進めることで、文化的歴史的価値の理解促進と、観光連携や地域の活性化を図ります。

○主な施策

- ①民俗芸能の継承支援
- ②歴史文化の活用推進と、観光連携

ウ コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進

○施策の方向

地域コミュニティの役割が増す一方、その機能低下が懸念される中であって、担い手の育成と集落自治体制を補完する広域コミュニティ組織の設置検討や、防災連携などの仕組みづくりを支援します。また、地域づくりとコミュニティ活性化のため、生涯学習の推進や、リーダーを育成する取組、ケーブルテレビを活用した地域情報の発信を進めます。併せて、健康増進のための拠点づくりの支援や新たな地域公共交通の確立など、健康で安全、安心に暮らせる環境整備を図り、明るく元気な地域づくりを推進します。

○主な施策

- ①活力と持続性のあるコミュニティの推進
- ②協働のまちづくりと地域のにぎわい創出
- ③高齢者等の交通環境の支援
- ④健康で安全・安心な地域づくりの推進

3 実施事業について

(令和7年度版)

【再掲】 檜引地域まちづくり未来事業一覧

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	R7予算額 (内示額)	事業 期間
1. フルーツの里づくりの推進と、地域資源の観光連携による魅力度の向上				
1	くしびきフルーツ振興プロジェクト事業	多品目・多品種生産の特色を生かし、四季折々のフルーツを楽しめる「フルーツの里くしびき」として果樹振興を図る。	4,336	R1~
2	檜引地域都市農村交流促進事業	横浜市立青木小とJA庄内たがわ青年部檜引支部の交流事業を支援することで、交流人口の拡大や農産物の販路拡大等を促進する	174	R1~
3	鶴岡市南部エリア観光周遊促進事業	檜引観光協会、あさひむら観光協会、金峯山観光協会との連携や観光事業者等の助言のもと、観光周遊ルートを確認するとともに効果的な情報発信により、観光客、交流人口、関係人口の増加による地域活性化を目指す。	1,043	R1~
2. 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進				
4	黒川能保存伝承支援事業	保存伝承研究会（歴史文化講演等）開催支援や東小児童壮舞い指導による担い手育成、黒川能保存会運営補助金による支援を行う。	2,961	R1~
5	能楽青年交流事業	首都圏大学等の能楽合宿誘致による黒川能PRと若手能役者等との交流、黒川能伝習館の有効活用などを図る。	400	R1~
6	檜引地域歴史文化施設ガイドサイン整備事業	今後増加が見込まれるインバウンドの外国人観光客に対応できる展示物等の多言語化やデジタル化による地元ガイドの負担軽減と担い手の育成、確保を図る。	209	R4~R7
7	檜引地域歴史文化施設収益性向上支援事業	地元の企業や教育機関等と協力し、地域資源を活かした新たな高付加価値の商品を開発することで、財源の確保と地域の活性化を図る。	870	R7~
3. コミュニティの活性化と明るく健康で暮らしやすい地域づくりの推進				
8	檜引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	住民協働による市推奨花サルビア植栽活動で、美しく住みよい生活環境づくりを支援する。	350	R1~
9	くしびき夏のイベント推進事業	檜引地域住民が集う「くしびき夏まつり」について、住民交流による賑わいの創出を図る事業として支援する。	180	R1~
10	横綱柏戸記念館活性化事業	横綱柏戸の偉業を知る地元の子供や産業観光スポーツ関係者と協働で本館の活性化策を検討し、自主的なイベント等で来館者を増加させ、地域振興や産業観光振興等を図る。	450	R3~
11	ゆ〜Town活性化事業	新たな魅力等を付加するイメージアップ事業により、地元の温泉施設としてより一層地域に浸透させ、地域住民の交流拡大による地域の活性化に向けた取り組みを行う。	800	R4~
12	くしびき若者未来創造事業	地域の若者を対象とした研修や討論を通じてまちづくりへの若者の参画を図るとともに、施策への反映や活動成果が上がるように取り組む。	623	R1~R7
合計			12,396	千円

〔完了事業及び予算を伴わない事業〕

No.	事業名	事業内容	事業期間
番外	遊休施設跡地活用の検討	檜引地域の遊休施設跡地活用の方向性について検討する（山添校は県に確認・調整していく）	R2~
R6 開始	やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業	赤川かわまちづくり計画と連携した、檜引赤川エリアの橋梁、管理道路の更新や馬渡の桜並木、レンタサイクル、遊具等の整備	R6(R2)~R9
R2 完了	たらのきだいのネイチャーパーク事業	檜引たらのきだいのスキー場は、ファミリーや初心者向けに重点を置くこととし、そのためにレンタル用品、そり乗り場やカラフル照明等を整備した。ほのかたらのきだいは、現状を勘案し運営や活用方法等を検討していくこととして事業は完了した。	R1~R2
統合	檜引地域の情報発信事業（檜引IPR事業）	フルーツ関連に特化した情報として、くしびきフルーツ振興プロジェクト事業の情報発信に統合した。	R1~
R4 完了	「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業	「宝谷地区集落ビジョン」の達成のために行う事業（「でわ宝」を核とした地域活性化等）を支援する。	R3~R4
R1 完了	檜引地域交通安全・防犯の日啓発事業	交通安全啓発として30年以上続いてきた毎月1日の「交通安全の日」の小旗掲揚について、新たに防犯啓発の内容も加えて小旗を更新し、チラシ等での周知により運動を促進	R1
R2 完了	「空にける階段」インフォメーション事業	檜引生涯学習センター内各所への作品展示、紹介パネル作成、QRコードからの市HP紹介映像へのリンクを実施し、事業を完了。高程氏の作品の貸し出し事業、生涯学習センターへの展示については継続して実施する。	R1~R2
R3 完了	檜引地域公共交通調査事業	市が計画してきた公共交通再編案の検証と裏付けの調査等を専門家に委託し、檜引地域公共交通の再編を図る。	R3
R3 完了	丸岡城跡環境整備事業	利用拡大のため大型バスでの来訪等にも対応できる駐車場の整備 ※令和3年5月21日完成	R2(~R3)
R3 完了	黒川能アーカイブ事業	黒川能の映像・音声データのデジタル化保存と新たな音源を収録し、伝承活動への活用を図る。	R1~R3
R4 完了	檜引織れ織り文化保存事業	故郷織績の顕彰と檜引織れ織りの保存継承と認知度を高めるための情報発信等を支援する。	R1~R5
R6 完了	檜引ゆかりの偉人展示会開催事業	市（檜引庁舎）に寄贈された作品等を展示し広く内外に知ってもらい、地域ゆかりの偉人への理解を深めるとともに、檜引地域内の観光施設への誘導する機会を創出する。	R6
R4 完了	檜引地域いきいき健康活動拠点運営への支援事業	高齢者の健康維持、生きがいづくり、閉じこもり予防のために各地区が自主的に取り組む活動を支援するため、各種講座・研修を企画するにあたり参考になる講座メニューやその申込先をわかりやすく一覧にまとめたリストを作成・配布するとともに事業実施に係るサポートを行う。	R2~R4
R6 恒替	檜引地域希少淡水魚保存事業	絶滅危惧種イバラトミヨの種の保存と、公開展示や情報発信等による生態系保全や環境保護の機運醸成を図る。	R1~
R7 恒替	檜引地域デマンド交通導入事業	高齢化社会の住民ニーズに沿った既存の公共交通を補完する新たな地域公共交通システムを構築する。赤川右岸地域で運行しているデマンドタクシー（会員制乗合タクシー）の継続や新たな導入を図る。	R1~

事業名

くしびきフルーツ振興プロジェクト事業

背景・課題・住民ニーズ

- ・ 楠引地域の果樹生産は、多品目多品種生産が特色。
- ・ 生産者の高齢化(平均年齢：65.0歳)が加速。
- ・ 後継者がいない割合は68%、70歳以上の割合が約4割を占有。
- ・ 機械化が進まず手作業が多いため、規模拡大が困難。
- ・ 離農(規模縮小)による果樹園地の伐採が確認され、円滑な園地継承に向けた支援体制の構築が必要。

事業目的

- 1 園地継承対策・担い手の確保 [円滑な園地継承への支援]
- 2 生産者の所得向上 [果樹生産基礎の整備促進、フルーツの里ブランド化の推進]
- 3 産地P R [観光果樹園等の誘客促進]

事業内容

「フルーツの里くしびき」のブランド化に向けて、「フルーツの里ブランド化支援事業(補助事業)」を実施し、鶴岡市における果樹振興のモデルケースとする。

【1 園地継承対策・担い手の確保】

- (1) 園地継承支援システムの運用開始 (県開発共通プラットフォームを活用予定)
 - (2) 楠引地域果樹振興意見交換会の実施
- 【2 生産者の所得向上】
- (1) 飲食店向けフルーツ利用促進 (圃場見学会の実施)
 - (2) ふるさと納税事業者説明会の実施
- 【3 産地P R】
- (1) フルーツ食べ比べ等イベントによる産地P R
 - (2) 観光果樹園の誘客促進 (SNSを活用した情報発信)

- ・ 「フルーツの里」ブランド化支援事業補助金 [R7予算額：4,186千円]
- ・ 事務経費 [R7予算額：150千円]

【実施体制】

- ・ 事業実施主体は、楠引地域産業振興プロジェクト推進協議会
- ・ 協議会で「フルーツの里推進員」を雇用し、事業推進

実施年度

R1～

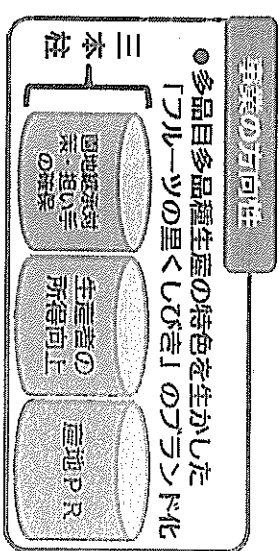
事業種別

継続 ソフト

楠引地域振興計画での位置づけ

(1) フルーツの里づくりと観光連携

イメージ図・写真等



実行計画①

【1 園地継承対策・担い手の確保】 350千円(継続)

重点項目

- 園地継承支援システム運用開始
- ・ 楠引地域実態調査をもとにした紙ベースでのマッチングに加え、県で開発予定の共通プラットフォームを活用した園地継承支援
- 果樹振興意見交換会
- ・ 園地継承対策、担い手の確保等に関する果樹生産者との意見交換

- ・ 従来園地の継承により、耕作面積減少に止めどかかせる。
- ・ SEASと連携し、果樹栽培管理の支援、RPAを導入。

【2 生産者の所得向上】 150千円(拡充)

- 飲食店向けフルーツ利用促進
- ・ 圃場見学会を実施→生食、加工品向けの利用拡大
- ふるさと納税事業者説明会
- ・ 生産者の販路拡大を支援→新規登録者獲得、既存登録者増強

項目	令和6年度(令和7年度)	成果指標(令和7年度)
登録者数	21人	23人
寄附金額(円)	約140,000円(予定)	153,000円(実績)

【3 産地P R(情報発信)】 380千円(継続)

- フルーツ食べ比べ等イベント
- ・ 多品種フルーツの食べ比べと料理教室等の体験型イベント
- ・ 地元産園施設での子ども向けの食べ比べを拡充し、楠引地域への誘客促進
- 観光果樹園の誘客促進



【目標】 園地と観光を活かした地域活性化
果樹多品目生産の地域特性を活用し、果樹生産と観光果樹園の振興、楠引産フルーツのブランド化

- フルーツの里推進員雇用 [3,306千円]
- 事務経費 [150千円]
- 消耗品費、大型プリンター代

項目	令和5年度(令和6年度)	令和6年度(令和7年度)	令和7年度(令和8年度)	成果指標(令和7年度)
補助金の総額(千円)	18,294	16,524	11,000	
補助金のうち(千円)	18,294	16,524	11,000	

2025(R7) 予算額

4,336 千円

事業名

榑引地域都市農村交流促進事業

背景・課題・住民ニーズ

30年近くにわたる都市農村交流は、都市部に鶴岡フアンを多く生み出し、お
り、今後も観光振興やグリーン・ツーリズムの推進、農産物の販路拡大など、多
面的な活性化を一層図っていくために、よりステツアップした事業を実施して
いくことが必要である。

事業目的

J A庄内たがわ青年部榑引支部が昭和61年から取り組んできた横浜市立青木
小学校との交流は、農業への理解促進をはじめ、榑引南小学校との相互交流や地
域農産物の販売、学校給食での「つや姫」の使用などにつながってきた。また、
修学旅行の受け入れは、民泊や農業体験、学校間交流など地域全体での取組みに
発展している。J A青年部の取り組みを引き続き支援するほか、農家民宿の強化
と支援により、交流による活性化や都市部での本市理解者の獲得、地域農産物の
販路拡大と交流人口の拡大など多面的な活性化に資する。

事業内容

- 農産物等販路拡大支援事業補助金 (R7予算額：174千円)
・稲作出前授業、あおきふれあいまつり参加
- 農家民宿グループ「黒川能の里の会」との連携 [補助金はR4で終了]

実施年度

R1～

事業種別

継続 ソフト

榑引地域振興計画での位置づけ

(1) フルーツの里づくりと観光連携

イメージ図・写真等

青木小学校田での
稲作指導



つるおかフアン[®]の獲得
農産物の販路拡大
交流人口の拡大


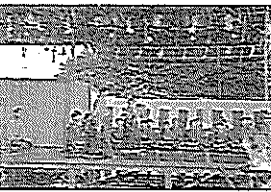



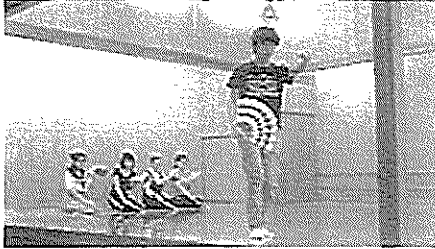

「あおきふれあいまつり」で
の
農産物販売


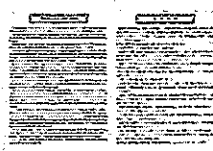
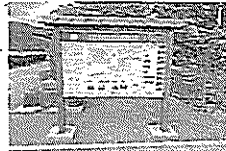




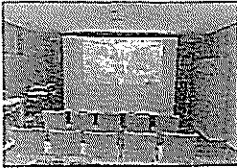
2025 (R7) 予算額


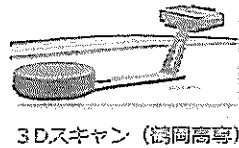
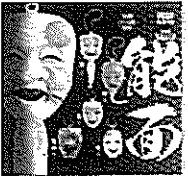


174 千円

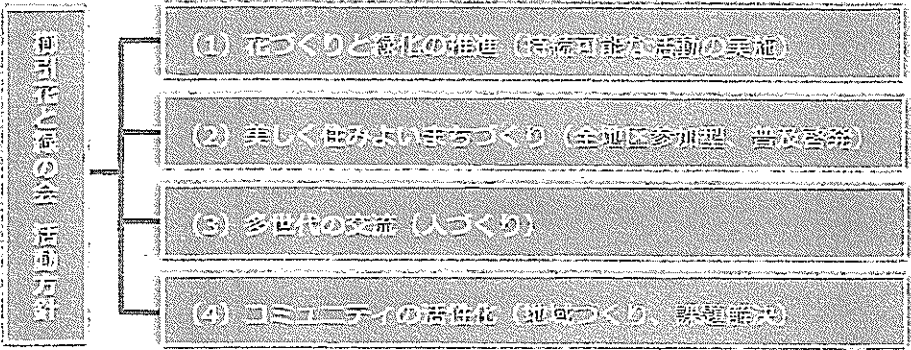


事業名	鶴岡市南部エリア観光周遊促進事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(1) フルーツの里づくりと観光連携		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>鶴岡市南部エリアには、「詣でる、つかる、いただきます」のコンセプトに合致する神社や温泉、フルーツ、食文化などの観光資源が点在しており、魅力的なコンテンツがそろっているが、櫛引・朝日・黄金地区が連携した、南部エリアとしての観光ルート確立と情報発信が不十分である。</p> <p>観光振興を図るために、各地域の観光協会と鶴岡市が連携し、これらの取組を推進する認識を共有している。</p>					
事業目的					
<p>櫛引観光協会、あさひむら観光協会、金峯山観光協会が、鶴岡市南部エリアでの観光商品の造成と情報発信、旅行者への商品提案ができる体制を整備し、観光を起因とした地域活性化や観光関係者の所得増加につなげる。</p>					
事業内容					
<p>令和7年度は、鶴岡市南部広域観光商品造成支援業務を旅行専門業者に委託する。</p> <p>【業務概要】</p> <p>○目的 令和6年度鶴岡市南部広域ツーリズム調査で得た知見を踏まえ、旅行者の支援のもと、観光関係者による実践的な商品造成プロセスと提案体制を構築し、誘客の取組を実効性のあるものにする。</p> <p>○内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 観光商品開発コンサルティング (2) 観光関係者による商品造成・提案体制の構築 (3) 実践的学習会の開催による人材育成と観光トレンドの把握 (4) 報告書の作成 		<p style="text-align: right;">2025 (R7) 予算額</p> <p style="text-align: right;">1,043 千円</p>			

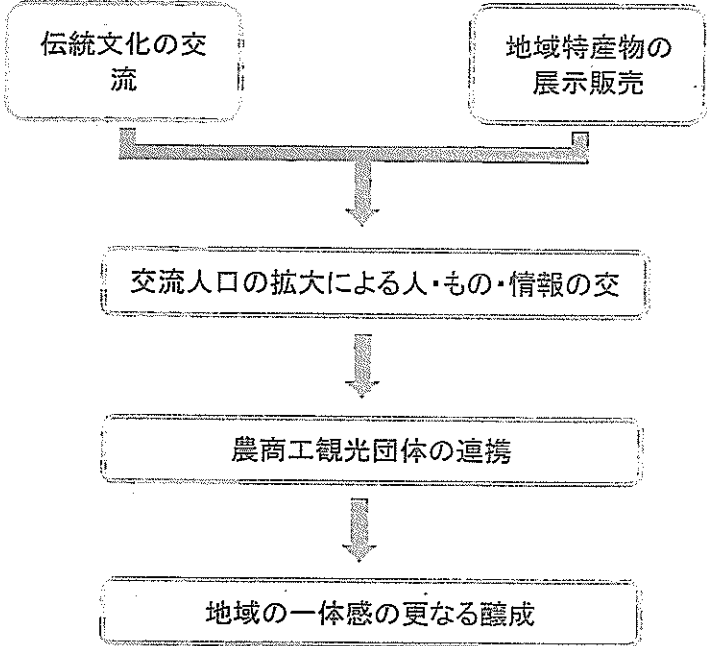


事業名	黒川能保存伝承支援事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(2) 歴史文化の継承と活用推進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>黒川能は、黒川地区の2つの能座により500有余年の間、連綿と受け継がれてきたが、近年の人口減少や少子高齢化の影響で座加入の戸数および能役者、囃子方が年々減少傾向にある。</p> <p>また、独特の謡や舞、所作、囃子、着付けが特徴である黒川能を継承していくには長い年月を必要とするが、勤務形態や生活環境の変化、価値観の多様化、能役者の高齢化等により、人材の確保および十分な稽古の時間を確保するのも難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。</p> <p>そのため、若い世代に伝統芸能に誇りを持ってもらう活動とともに、文化資源を後世に継承していく仕組みづくりと、旅行者など黒川能の理解者の掘り起こしが必要となる。</p> <p>指定管理者である黒川能保存会は、主な収入を寄附金と公演収入としているが、近年は新型コロナウイルスの影響により、遠方からの来訪者や寄附金も減少傾向にあり、厳しい財政状況となっている。</p>		<div data-bbox="1205 284 2078 411" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【保存伝承の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 ・能役者の高齢化 ・生活環境、価値観の変化 </div> <div data-bbox="1205 435 2078 563" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【継承の仕組みづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的交流 ・理解促進 ・後継者育成 ・事業の円滑な運営 </div> <div data-bbox="1187 606 2083 1388" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保存伝承研究会の開催 (歴史文化講演会等 R5 黒川能の里王祇会館開館20周年記念事業 観世流能楽師との仕舞共演等) ○後継者育成事業 (現役能役者による小学校児童への指導) ○黒川能保存会運営補助 ○体験メニューの企画、提供 <div data-bbox="1825 654 2049 949" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1780 965 2049 1157" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1780 1173 2049 1372" style="text-align: center;">  </div> </div>			
事業目的					
<p>近年の少子高齢化、生活環境や価値観の多様化により、人材の確保等が難しくなっており、保存伝承が危ぶまれているため、地元櫛引東小学校の児童に対し現役能役者による直接指導を行い、継承の意識付けをし、後継者を育成する。</p> <p>体験用能楽器(30年度整備)と能装束(31年度整備)を活用し、王祇会館を「見る」施設から「体験できる」施設にするとともに、春日神社との連携や着付け体験メニューの運用を含めて広くPRし、黒川能の文化財としての周知や理解促進、来訪者の増加を図る。</p> <p>黒川能保存会の各種事業および管理運営体制を支援することで、継続的な保存伝承に寄与する。</p>					
事業内容					
<p>公益財団法人黒川能保存会が行う下記事業に対し補助を行い支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○黒川能保存伝習研究会 黒川能に造詣の深い識見者の講演会や伝統芸能の上演等。 ○後継者育成事業 現役能役者による演能および囃子方の指導と水焰の能等成果発表機会の創出。 ○黒川能保存会運営補助 黒川能保存会の運営事務全般の補助 		<p style="text-align: right;">2025 (R7) 予算額</p> <p style="text-align: right; font-size: 24px;">2,961 千円</p>			

事業名	能楽青年交流事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(2) 歴史文化の継承と活用推進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>現在、首都圏の大学の能楽サークルを対象に、能楽青年交流事業により、能楽合宿、地元若手能役者との交流を行っているが、その時限りの関わりとなっている。</p> <p>せっかく黒川に来てもらっても、短期間のため、黒川能と農業、地元住民の関わり、食文化等について、理解や体験があまり出来ずに終了してしまっている。</p> <p>能楽合宿に参加したことをきっかけにリピーターとなってもらい、黒川能への理解促進、農業や食文化等の体験をとおり、長期的な交流へと発展させていきたい。</p> <p>また、黒川能伝習館には能舞台が設置してあり、地元の能役者の稽古に使用されているものの使用頻度は少なく、利活用について検討する必要がある。</p>		<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 大学能楽サークル等の稽古合宿誘致・受け入れ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【既存施設の利用促進】 【観光振興】 </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・王祇会館 ・黒川能伝習館 ・農家民宿 ・市内観光施設 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【学び・理解促進・交流】 </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・地元能役者との交流会 ・イベント参加 ・食文化 ・農業体験 ・住民生活 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">  <div style="width: 45%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">【能楽合宿（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝習館能舞台での能楽稽古 ・農家民宿への宿泊 ・地元若手能役者との交流会 ・市内観光 ・装束、面等鑑賞 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: 2em;">▼</p> </div>			
事業目的					
<p>現在取り組んでいる能楽青年交流事業は、首都圏の大学生を対象に、夏季休暇を利用した能楽合宿を行っているが、その時限りの交流になっているため、この事業を通年に拡大し、1年を通した能と農、住民生活の関わりを学んでもらい、能の理解促進、交流の継続につなげる。</p> <p>また、黒川能伝習館、王祇会館、農家民宿の利用促進、観光振興を図り、「能楽合宿地」という分野を確立する。</p> <p>近年の新型コロナウイルス感染症による移動の自粛やサークル活動の停滞により稽古合宿が実施できないことから、地元のサークル等にも黒川能伝習館の能舞台を広く貸し出す等、既存施設の利活用、交流人口の増大を図る。</p>					
事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・大学や青年層の能楽サークルを対象とした能楽合宿の誘致 ・能楽合宿での黒川能伝習館の能舞台の貸館や農家民宿の斡旋 ・地元の若手能役者や地元住民との交流 ・能楽合宿に参加した学生の「水焰の能」への出演依頼 ・地元農家での農業体験 ・王祇祭や蠟燭能の観能またはボランティア ・地元サークル等への黒川能伝習館の貸館 		<div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: 1.2em;">「能楽合宿地」としての確立</p> <p style="font-size: 1.2em;">交流人口の増加および長期的な交流</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1400 1433 1659 1469">2025 (R7) 予算額</div> <div data-bbox="1928 1433 2123 1469">400 千円</div> </div>			

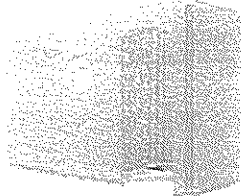
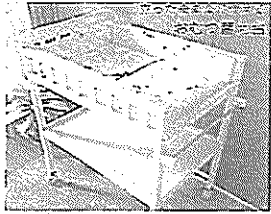
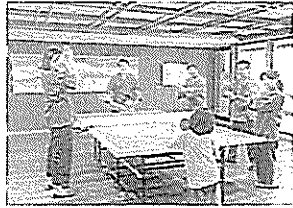
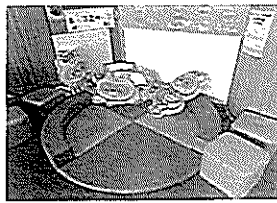
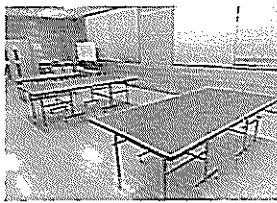

事業名	櫛引地域歴史文化施設ガイダンス整備事業	実施年度	R4～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(2) 歴史文化の継承と活用推進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>櫛引地域には現在、「黒川能の里王祇会館」「丸岡城跡史跡公園」という文化施設があり、伝統芸能や歴史について展示等を行い、文化的・歴史的価値の理解促進と交流人口の拡大を図る取組を行ってきた。</p> <p>令和元年度以降は、コロナ禍のため観光客は減少傾向となっていたが、令和4年度に入り、これまで続いたコロナ禍による規制が緩和されたことにより国内外の観光客の増加が見込まれている。</p> <p>今後は、インバウンドを含めた観光客の受入れ体制や知名度の向上を図るため、観光施設としての環境整備や情報発信力の強化を推進する必要がある。</p> <p>令和6年度は、これまでに整備したブロードバンド環境を活かし、「黒川能保存伝承研究会」で台湾にいる鶴岡市国際観光大使ベンジャミン・リャオ氏とオンラインで繋ぎ講演会を開催した。</p> <p>なお、施設単体での取組だけではなく、観光地が一体となって鶴岡南部エリア広域観光を形成し、面的な観光振興による地域活性化を推進する必要がある。</p>		<div data-bbox="1176 263 1646 311" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">■実施事業 (～R6)</div> <ul style="list-style-type: none"> ○多言語ガイダンス整備事業 (R4) <ul style="list-style-type: none"> ・王祇会館、丸岡城跡史跡公園のパンフレット製本 (英語翻訳) ○王祇会館・丸岡城跡案内看板製作業務委託 (R4) <ul style="list-style-type: none"> ・王祇会館、丸岡城跡史跡公園に英語翻訳案内看板を設置 ○Wi-Fi整備 (黒川能の里王祇会館管理運営事業) (R5) <ul style="list-style-type: none"> ・王祇会館内にWi-Fiを設置 ○王祇会館ガイダンス多言語化業務委託 (R6) <ul style="list-style-type: none"> ・王祇会館内解説パネル等をデジタル (QR) で多言語化 			
事業目的		   			
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の案内表示や周辺環境の整備による観光客へのサービス性の向上と情報発信力の強化による来館者の増加を図る。 ・今後増加が見込まれるインバウンドの外国人観光客への対応や地元ガイドの負担軽減、担い手の育成・確保を図るためガイダンスの多言語化やデジタル化を推進する。 ・鶴岡南部エリア広域観光を構築し、産直あぐりや柏戸記念館などの地域内にある他の観光施設と一体となった観光振興の強化を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・パンフ (王祇) ・パンフ (丸岡) ・看板 (丸岡) ・Wi-Fi (王祇) 			
事業内容		  			
<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語版パンフレット作成 (王祇会館1,000部、丸岡5,000部) ・案内看板製作 (春日神社、丸岡) ※酒井家庄内入部400年実行委員会等と調整、情報共有を図りながら実施 ※各媒体で使用する英語翻訳については、令和2年度に実施した観光庁「多言語解説整備支援事業」の成果品 (英語解説) を使用 		<div data-bbox="1176 1093 1646 1141" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">■実施事業 (R7)</div> <ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度王祇会館紹介動画多言語化業務委託 (209千円) <ul style="list-style-type: none"> ・R2に実施した「多言語解説整備事業 (観光庁)」の成果物を媒体化する必要があることから、王祇会館の視聴覚室で上映している紹介動画を多言語化する。 (動画5作品の英語字幕化) <p>※丸岡城跡史跡公園のガイダンス整備については、公園の利用拡大や、シビックプライドの醸成を優先し、生涯学習センター等と連携した取組を推進する。</p>			
<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi整備 (王祇会館) ※管理運営事業 					
<p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス多言語化 (王祇会館) ⇒王祇会館に展示している解説パネルや能面の写真パネル等をQRコードを読み込み音声で英語翻訳が聞けるシステムを導入した。 					
<p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・王祇会館紹介動画多言語化 ⇒王祇会館の視聴覚室で放映している紹介動画に英訳の字幕テロップを表示する。 		<p style="text-align: right;">2025 (R7) 予算額</p>			
					209 千円

事業名	櫛引地域歴史文化施設収益性向上支援事業	実施年度	R7～	事業種別	新規 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(2) 歴史文化の継承と活用推進	
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>・櫛引地域には現在「黒川能の里王祇会館」と「丸岡城跡史跡公園」の2つの文化施設があり、伝統芸能や歴史について展示等を行い、全国各地から見学に訪れている。近年は、インバウンドによる外国人観光客も増えつつある。</p> <p>・インバウンド対応も含め、令和4年度から進めている歴史文化施設ガイドス整備事業で、英訳付きパンフレットや看板の製作、王祇会館のWi-Fi環境整備、QRコードにより展示パネル等の音声・英訳ガイドスが流れるシステムを整備。7年度には視聴覚室映像の英訳字幕化を予定している。</p> <p>・歴史文化の保存継承を推進する上で、その活動を担っている団体（保存会等）役員等の担い手不足や活動資金等の財源確保が課題となっている。</p> <p>・そのため、今までの整備を活かし、地域の活性化（地域の協働・地元還元・組織の財源確保）につなげるための取組みが必要である。</p>		<div data-bbox="1189 229 1664 292" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">■実施事業 (R7)</div> <div data-bbox="1189 325 2096 858" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【検討会1回目】(6月開催予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催(ブルーアンバサダー) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 地域資源を活かした商品開発のヒント ⇒ 開発した商品のPR方法など ・商品検討ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ メンバーによる商品の考案 ※ワークショップで方向性を決めて、2回目まで各自考えてくる <p>【検討会2回目】(8月開催予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品検討ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ メンバーによる商品の決定 ※1回目以降、各自で考えた商品の選考(3品目ぐらい) ⇒ 決定した商品の検証(商品造成が可能かを地元企業や鶴岡高専から検証) <p>【検討会3回目】(10月開催予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証結果の報告 ※随時、ANAによる情報発信(取組状況、黒川の魅力など) ⇒ 検証結果の報告 ・試作品の決定、今後の進め方確認 </div> <div data-bbox="1765 268 2085 464" style="text-align: right;">  </div>			
事業目的		<div data-bbox="1189 887 1664 949" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">■方向性 (R8～)</div> <div data-bbox="1189 963 2096 1422" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>令和8年度(補助対象)</p> <p>【試作開発1回目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作品の制作着手 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 地元企業、鶴岡高専が連携 ※適宜検討会メンバーに情報を共有 <p>【試作開発2回目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作品完成披露 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 試作品の披露、量産化を確認(意思確認) ※試作品の制作や量産化に課題が残る場合は、令和9年度も試作品の開発を継続する ・WS実証試験(モノづくり体験) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 親子で参加できるイベントと連携(くろかわの秋祭など) </div> <div data-bbox="1921 963 2096 1023" style="text-align: right;">令和9年度以降(補助対象外)</div> <div data-bbox="1653 1023 1890 1171" style="text-align: center;">  <p>3Dスキャン(鶴岡高専)</p> </div> <div data-bbox="1980 1054 2096 1401" style="text-align: right;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">商品生産・販売</div> </div>			
<p>・地元の企業や教育機関等と協力し、地域資源を活かした新たな高付加価値の商品を開発することで、財源の確保と地域の活性化を図る。</p> <p>・また、新たに開発した商品は、ふるさと納税返礼品として登録し、情報発信力を強化するとともに、持続可能な運営体制の整備を図る。</p>					
事業内容					
<p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな商品開発検討会補助金(870千円) <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 商品開発検討会を開催し、新たな高付加価値商品の考案、開発を検証する。 <p>【検討会(3回程度開催予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 地域資源を活かした売れる商品開発のヒント ⇒ 開発した商品のPR戦略など ・商品検討ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 検討会メンバーによる商品の考案 ⇒ 開発検証結果の報告 ⇒ 試作品の決定、今後の進め方確認 ⇒ 情報発信(取組状況、黒川の魅力など) <p>【商品開発(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 能面づくり(ワークショップ等で活用) ⇒ 能面ガチャ(お土産品) <ul style="list-style-type: none"> ※3Dスキャンで「本物」をデータ化 ⇒ その他検討会で決定 		<div data-bbox="958 1034 1144 1209" style="text-align: center;">  <p>「能面ガチャ」</p> </div> <div data-bbox="757 1246 882 1417" style="text-align: center;">  <p>「女面 孫次郎(下座)」</p> </div> <div data-bbox="958 1246 1144 1433" style="text-align: center;">  <p>「3Dスキャン」</p> </div>			
		2025 (R7) 予算額		870 千円	


事業名 榊引地域花いっぱい運動で環境美化推進事業	実施年度 R1~	事業種別 継続 ソフト	位置づけ (3) 地域づくりの推進
背景・課題・住民ニーズ ・S53年花と緑の町推進会議が結成され、花いっぱい運動がスタート。S55年に榊引町の花「サルビア」を制定し、各地区自治会に植栽したサルビアを審査する花いっぱいコンクールを開催。S59年から国道112号歩道にサルビアを植栽し現在まで継続している。 ・榊引花と緑の会を結成し、市（補助金）、賛助金、地区自治会費を財源に事業を実施。 ・国道112号の植栽花壇は、通称「サルビアロード」とよばれ、歩道植樹帯の設置によって交通事故を低減させる役割を果たすとともに、通行者に心のやすらぎを与えており、H20年には緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞している。 ・国土交通省からの支援を受け、下山添地区老人クラブを中心に賛助会員、市職員や鶴岡南高校山添校等ボランティアの協力により支えられてきたものであり、今後も継続していくためには行政の支援が必要不可欠である。 ・下山添地区老人クラブが国道花壇維持管理の中心を担っていたが、現在は対応できなくなったため当会の会長を中心に実施しているが、高齢化や担い手不足が課題となっている。また、国道植栽にボランティア協力をいただいていた鶴岡南高校山添校が令和3年度をもって閉校されたことにより、作業協力者の大幅な減少が懸念されたが、榊引中学校が鶴岡南高校山添校の意志を継承しボランティア活動を担ってくれている。 ・今後も運動を継続していくためには、維持管理の担い手やボランティアの確保が必要である。		イメージ図・写真等  <p>花と緑の会で課題を整理し、活動内容を見直しながら継続的に実施</p>	
事業目的 ・花づくりと緑化を積極的に推進し、環境を整え美しく住みよいまちづくりに貢献する。 ・多世代の交流によるコミュニティの活性化を図る。		活動内容の見直し (R7)  <p>病気による枯死</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国道112号植栽の見直し(R4,5,6に引続きモレタガ継続) ⇒ 県農業技術普及課と連携し、土壌改良や他品種の播栽を検討 ○ 国道112号植栽の栽培管理の負担軽減 ⇒ 水やりを下山添花卉組合に、肥培管理、除草等をシルバー人材センターに委託 ○ 国道112号植栽参加者への記念品プレゼント ⇒ ボランティア参加者等へ缶バッジをプレゼント(普及啓発) 	
事業内容 ・榊引花と緑の会（事務局：榊引庁舎総務企画課）が実施する、サルビアの植栽等費用に対して引き続き補助金を交付する。 ・12地区の参加による花いっぱい運動とコンクールの実施 ・国道112号四車線区間へのサルビア植栽と肥培管理		花いっぱい活動を継続し、市民が安全安心な生活を送れる環境づくり  <p>※R4から榊引中学校が活動参加</p> <p>2025 (R7) 予算額 350 千円</p>	

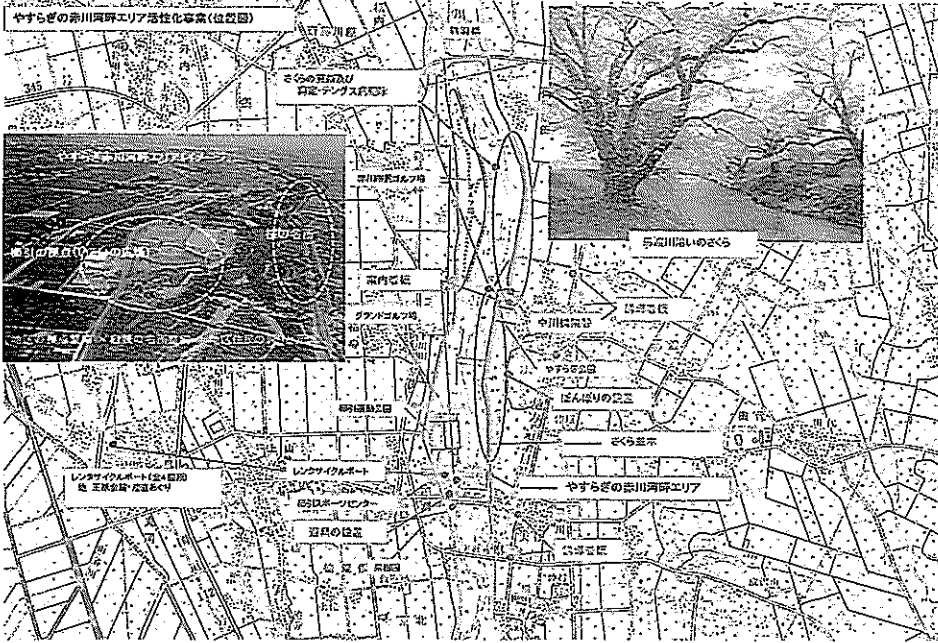
事業名	くしびき夏のイベント推進事業	実施年度	R1～	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(1) フルーツの里づくりと観光連携		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>少子高齢化に伴う人口減少や就業構造の変化に伴い、地域住民の連帯感の希薄化が進んでいる。</p> <p>また、地域の関係団体が連携・協力して広く住民が集う機会を創出し、住民の一体感の醸成と活力を養う取組みが求められている。</p> <p>そのため平成23年度から令和元年度までは実行委員会形式でくしびき夏まつりが開催されてきたが、令和2年度から令和5年度までは新型コロナの影響等で開催されなかった。</p> <p>令和6年度は、出羽商工会、JA庄内たがわ櫛引支所、櫛引観光協会にて組織された実行委員会が、7月27日（土）に櫛引生涯学習センターにおいて、5年ぶりにくしびき夏まつりを開催し、301人が集った。</p>		 <pre> graph TD A[伝統文化の交流] --- B[地域特産物の展示販売] A --- B B --> C[交流人口の拡大による人・もの・情報の交流] C --> D[農商工観光団体の連携] D --> E[地域の一体感の更なる醸成] </pre>			
事業目的					
<p>櫛引地域における伝統文化の交流と地域特産物の展示販売等を通じ、交流人口の拡大による人・もの・情報の交流をなお一層推進し、もって農商工観光団体の連携による地域の一体感の更なる醸成を図るため、実行委員会が開催するくしびき夏まつりを支援する。</p>					
事業内容					
<p>櫛引地域内の農商工観光団体で組織される実行委員会が開催する「くしびき夏まつり事業」の支援。（補助金交付等）</p> <p>【くしびき夏まつりの内容】 ステージアトラクション、地域特産品の抽選会、キッチンカーの出店 など</p>		 <p data-bbox="1368 1321 1487 1350">開催状況</p>  <p data-bbox="1727 1321 2040 1350">ステージアトラクション</p>			
2025 (R7) 予算額					180 千円



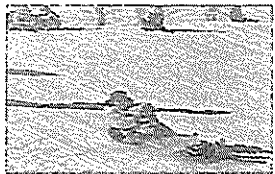
事業名	横綱柏戸記念館活性化事業	実施年度	R3～	事業種別	ソフト・事業補助
背景・課題・住民ニーズ		横綱地域振興計画での位置づけ (1) フルーツの里づくりと観光連携			
<p>横引出身の名誉市民(旧名誉町民)で、県民栄誉賞第1号受賞者である大相撲第47代横綱「柏戸剛」は、今なお県内出身唯一の横綱であるが、残念ながら現役当時の雄姿を知る者は中高年の世代に限られている。横綱柏戸の偉業を顕彰し、後世に伝えるため平成16年には「横綱柏戸記念館」が建設された。記念館には、横綱柏戸の貴重な資料を保有しているが、解説文などが不足している。また、横綱柏戸の偉業が、現役当時を知らない世代や、地域外から訪れる方などへ広く周知、啓発する施設となっていない状況にある。</p>		イメージ図・写真等			
事業目的 <p>くしびき温泉ゆーTownを含む当館周辺エリアは、今後横綱地域における地域公共交通の拠点地とする計画があり、また、赤川かわまちづくり計画との連携や鶴岡市南部エリア観光、マイクロツーリズムにおける横綱地域の重要施設としても活用していく。</p>					
事業内容 <p>①第47代横綱柏戸・鏡山親方の功績をたたえ資料保存と公開を行う。 ②ニッチな観光客のニーズに応え、館内の展示方法や改善点を整理するとともに、運営手法の検討や各種事業を展開するために産業観光スポーツ関係者らを中心に横綱柏戸記念館活性化推進委員会を立上げる。 ③衰退する本市の歴史ある少年相撲を再生すべく、移築した鏡山部屋の稽古土俵を修繕し、そこで少年相撲(柏戸杯)大会を開催する。</p> <p>[令和5年度] ①横綱柏戸記念館活性化推進委員会での検討及び事業展開 ・少年相撲大会や朗読会等の実施</p> <p>[令和6年度] ①横綱柏戸記念館活性化推進委員会での検討及び事業展開 ・少年相撲大会や朗読会等の実施</p> <p>[令和7年度] ①横綱柏戸記念館活性化推進委員会での検討及び事業展開 ・少年相撲大会や特別展・講話会等の実施</p>		観光 <p>令和元年度観光ガイド実績(横綱観光ガイドの会対応分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟交通(新潟) 【292人/10日】 千曲旅行(長野) 【80人/2日】 秋北航空サービス(秋田) 【831人/21日】 合計 【1,203人/33日】 <p>イベント</p> <p>鶴岡学童相撲大会歴史に幕わんぱく相撲大会休止中 柏戸記念学童相撲大会や講演会等の実施</p> <p>土俵の整備</p> <p>来館者の増加・地域連帯感の醸成・産業観光振興・後世への伝承・収蔵品の適正管理</p> <p>来館者(記帳者)R元:3,015人→R2:479人→R3:365人→R4:610人→R5:1,153人</p> <p>2025 (R7) 予算額 450 千円</p>			

事業名	ゆ〜Town活性化事業	実施年度	R4〜	事業種別	継続 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(3) 地域づくりの推進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>【背景】 温泉施設利用者は、コロナ禍以前から人口の自然減少の影響もあり遡減している。施設も設備も耐用年数を超える中、ゆ〜Townを存続させるためには、賑わいがあり、地域で存在感ある施設である必要がある。</p> <p>【課題】 指定管理委託料は入浴とフレイル予防事業に必要な予算のみで、幅広い利用拡大・地域の活性化に関連する費用が想定されていない。将来的な利用者増加も考え、ファミリー層や若年層を中心とした誘客戦略が必要。</p> <div data-bbox="203 549 461 619" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>組合からの意見も踏まえて検討</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・親子連れ入浴の際のサービス展開を検討 ・若い女性に向けた利用促進策を検討 		<p>①販売促進業務委託料</p> <p>〜家族で気軽に出かけられる場所を提供〜</p> <ul style="list-style-type: none"> ■授乳室・オムツ替え室の設置 乳幼児を連れた家族でも安心して来館できるようにすることで、新たな利用者を獲得する。  <p>災害時、避難所でも活用できる段ボール製の授乳室</p> <p>〜ゆ〜Townを身近な場所に〜</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ゆ〜たんグッズによる誘客 ゆ〜Townキャラクターのゆ〜たんは、誕生して3年目になり、地域にも徐々に浸透している。更なる誘客と、ゆ〜Townに愛着をもって、身近に感じていただけるよう、PR用のグッズを作製する。 			
事業目的		②健康増進活動業務委託料			
<p>【事業概要・目的】 新たな魅力等を付加するイメージアップ事業により、地元の温泉施設としてより一層地域に浸透させ、地域住民の交流拡大による地域の活性化に向けた取り組みを行う。</p> <p>①販売促進（授乳室・おむつ替えスペースの設置、ゆ〜たんグッズの作製、情報発信） ②健康増進（健康教室）</p>		<p>〜幅広い世代が体を動かせる場所に〜</p> <ul style="list-style-type: none"> ■親子卓球教室の実施 令和6年度の活性化事業で設置した卓球台の周知と活用のため、親子卓球教室を開催して、地域住民の健康増進を図る。 			
事業内容		ファミリー層が利用したくなる付加価値を創出！			
<p>【販売促進】 R4年度に作成したゆ〜Townキャラクター「ゆ〜たん」による積極的な誘客を行い、ファミリー層がターゲットと明確に周知できる「授乳室・オムツ替えスペース」を設置することで、小さい子どもが一緒でも安心して利用できるようにする。また、キャラクターグッズを活用した情報発信も行う。</p> <p>【健康増進】 R6年度に設置した卓球台を活用した親子卓球教室を開催。市民の健康増進を促し、健康増進施設としての活用を広める。</p>		 <p>キッズスペース (R6年度設置)</p>  <p>↑卓球台 (R6年度設置) 親子卓球教室 (チラシ) →</p> 			
2025 (R7) 予算額				800 千円	

事業名	くしびき若者未来創造事業	実施年度	R1~	事業種別	継続 ソフト・事業補助
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(3) 地域づくりの推進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>地域のリーダーが高齢化してきており、次世代への継承を図るため、地域のまちづくりをリードしていただける若い人材を発掘・育成することが急務となっている。</p> <p>また、事業を通して若い世代の人脈拡大、新たなまちづくり事業の提案・実施を行うことで、地域貢献や地元定着につなげる。</p>		<p>住み続けたい地域を目指す →</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分(たち)の考えや思いを語り合い交流を深めよう ○興味のあることを研修してみよう ○自分(たち)でやってみたいことを実践してみよう 			
事業目的		<p>これまで... 職場、家族、仲間以外に地域の若者同世代が、語り合う「場・機会」がほとんどない</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>地域のプレーヤー (事業者・農業者等)</p> <p>個人の活動</p> <p>くしびきこしゃってプロジェクト</p> <p>グループの活動</p> <p>次世代を担うプレーヤー</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことがあるけれど、どうい手法があるんだろう ・今やっているものを一緒にやってくれる人がいればなあ ・気軽に話し合える場がほしいなあ </div> </div>			
<p>協働のまちづくり、地域の未来創造には、若者の英知と独創的アイデア、そして行動するエネルギーが不可欠であることから、櫛引地域の若者による研修や交流等を通じて、地域のまちづくりを牽引していただけるような人材の育成に寄与する。</p> <p>令和2年度から気軽に話し合う場として、参加者同士の人脈を拡大しながら若者が地域づくりに関わるきっかけとなるワークショップ「かたりばくしびき」を開催している。</p> <p>ワークショップテーマとして櫛引地域の資源の再確認、活用アイデアを出してもらい、施策への反映や参加者たちが実際に事業として取り組むことで若者が地域のまちづくりに参画する機会を創出する。</p>		<p>■ 櫛引の地域資源の再確認</p>			
事業内容		<p>櫛引フィールドを体験し感じながら、集まって語り合い、互いの活動のヒントや新しい視点を見つける「場」として活用！ サードプレイスの創出</p>			
<p>令和2年度から気軽に話し合う場として、参加者同士の人脈を拡大しながら若者が地域づくりに関わるきっかけとなるワークショップ「かたりばくしびき」を開催している。</p> <p>ワークショップテーマとして櫛引地域の資源の再確認、活用アイデアを出してもらい、施策への反映や参加者たちが実際に事業として取り組むことで若者が地域のまちづくりに参画する機会を創出する。</p>		<p>〇〇が地域にあつたら楽しそう!</p> <p>今やっていることを、他の何かと一緒に出来ないかな?</p> <p>楽しいことやってみよう!</p>			
<p>令和7年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あかりづくり(王祇会館用)」1回、異業種交流事業(講演会等)1~2回 		<p>交流 私たちの活動を一緒にやってみない?</p> <p>実践</p> <p>研修 こんなことを考えてるんだけど...</p> <p>櫛引にこんな楽しいところがあったんだ!</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ●地域づくりに関わるきっかけづくり、自分自身のスキルアップ ●自分(たち)の活動を継続しながら、他との連携(仲間づくり) ●市の施策への反映、地域づくりの実践 ●WS等で話し合ったことを成果に結びつける 			
		2025 (R7) 予算額			623 千円

事業名	遊休施設跡地活用の検討	実施年度	R2～	事業種別	継続 ハード・ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(3) 地域づくりの推進		
背景・課題・住民ニーズ		イメージ図・写真等			
<p>●令和3年度末で閉校となった山添校は、致道館高校の部活動の場として、グラウンド・体育館は県で引続き活用されている。スポーツ団体への一般開放事業も継続で行われている（当面、活用の予定）。</p> <p>●山添校は、櫛引の中心地において巨大な遊休施設とならないようにと、地域振興懇談会や市議会が跡地活用を望む声がある。人工芝サッカー場の整備を模索してきたが、市の方針で鶴病跡地に決定したため、考えの再構築が必要。</p> <p>●令和6年度末で閉園となる東部・南部保育園は、市（櫛引地域）の遊休施設となるため、その活用策（または処分）の検討が必要。</p> <p>●山添校（校舎棟）、保育園ともに施設・設備の老朽化が進んでおり、活用には慎重な姿勢が必要。</p>					
事業目的		(山添校)活用アイディア (R3.11.27かだりばくしびきvol.3WSより)			
<p>●山添校は、県での使用が終了した後に巨大な遊休施設とならないよう、①所有者である県への働きかけ、②市や民間での活用方法の模索、の順番で検討を重ねる。</p> <p>●東部・南部保育園は、それぞれ東小・南小学校に隣接した施設であり、老朽化によって危険建築物とならないよう、市や民間、地域での活用方策（または処分）を検討する。</p>		<p>スポーツ施設（ジム）、勉強・交流スペース（不登校児の居場所、放課後サービス）、動物保護施設（動物診療所・ドッグラン）、カフェ（子ども食堂、キッチンスタジオ、動物）、本屋（漫画図書館）、外国人交流スペース（日本習慣学校）、キャンプ場（宿泊施設）、貸しオフィス（コワーキングスペース、スタジオ）、体験施設（農業・職場・そば打ち・体育教室）、お茶栽培（柿・桑）、リサイクルショップ（フリマ・古着屋）、写真館（コスプレ撮影所）、美術館（富樫実氏）、便利屋（何でも屋）、屋台村、お化け屋敷</p>			
事業内容		2025 (R7) 予算額			
<p>●山添校は、関係部署と連携して、県での活用、処分、条件等について、意向確認や調整を進めている（R2メールで確認、R3県庁訪問、R4メールや電話で状況確認、R5県担当が来庁し状況確認、R6電話で状況確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県への重要事業要望で山添校跡地の活用（または処分）を要望（R3年5月～） ・県での活用等が見い出せないことも考慮し、市や民間の活用について視察やサウンディング調査（対話型市場調査）も視野に入れて模索していく。 <p>●東部・南部保育園も関係部署と連携して、活用策（または処分）を検討する。</p> <p>●市内外の遊休施設活用施設を視察研修したり意見交換するなど、遊休施設の活用策の検討を進める。</p>		- 千円			

<p>事業名</p>	<p>やすらぎの赤川河畔エリア活性化事業</p>	<p>実施年度</p>	<p>R6 (R2) ~R9</p>	<p>事業種別</p>	<p>継続 ハード・ソフト</p>
<p>背景・課題・住民ニーズ</p>		<p>櫛引地域振興計画での位置づけ (1) フルーツの里づくりと観光連携</p>			
<p>1. 子どもが、遊べる公園・環境が少ない。 2. 年齢問わず地区民の“いこいの広場”としてのスポーツセンター付近を拠点施設として 整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。 3. 桜開花時期、やすらぎ公園沿いにぼんぼり設置要望がある。 4. 桜の手入れ不足の声 (テングス病駆除や大枝剪定) 5. 桜の開花時期に必ず馬渡川付近への行き方についての問い合わせがあるが、道路標識が無いため、説明に苦慮する。</p>		<p>イメージ図・写真等</p> 			
<p>事業目的</p> <p>多くの地域資源が集積する「やすらぎ赤川河畔エリア」を一体的にとらえ適切な管理と活性化を施すことで、交流人口を増やしにぎわいを創出する。 また、スポーツ公園付近に遊具の新設、年齢問わず地区民の“いこいの広場”としてのスポーツセンター付近を拠点施設として整備し地域住民の誇りと元気を醸成するものである。</p>					
<p>事業内容</p> <p>やすらぎの赤川河畔エリアは住民いこいの場の拠点化</p> <p>①周辺施設との赤川周遊(右岸含む)が出来るレンタサイクルの配置。 (サイクルポート:4箇所:スポーツセンター、産直あぐり、王祇会館、丸岡城跡)</p> <p>②誘導案内看板4基(馬渡川の桜づつみへのアクセス)</p> <p>③利用案内看板2基(ジョギング等の案内用)</p> <p>④桜並木の適切な管理 国、地元、市の三者協定による計画的更新、テングス病駆除・大枝剪定</p> <p>⑤ちびっこ広場に遊具設置</p> <p>「赤川かわまちづくり計画」で整備検討されるもの</p>		<p>R6以降に赤川かわまちづくり計画で事業開始</p>			

事業名	たらのきだいのネイチャーパーク事業	実施年度	R1~R2	事業種別	完了 ハード・ソフト・事業補助																
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(1) フルーツの里づくりと観光連携																	
背景・課題・住民ニーズ		実績(評価)及び今後の方向性																			
<p>「櫛引たらのきだいのスキー場」は、ファミリースキー場として多くのスキーヤーやスノーボーダーから絶大な支持を得ているが、全国的なスキーやスノーボード人気の落ち込みと共に入込み客数は全盛期の46%程度となった。</p> <p>「ほのかたらのきだいの」は、地域資源活用型の農業構造改善施設として、また、櫛引たらのきだいのスキー場利用者への便益施設として、スキー場の厨房や食堂機能を有するロッジに宿泊施設や浴室などを増築して開設した。当初は順調に経営していたが、利用者数は年々減少し、夏場における現在の利用者はほぼ皆無となった。</p> <p>しかし、地域住民や施設利用者からは、両施設存続の強い要望があり、また、民間事業者からは、両施設と連携して交流人口やインバウンドの増加を図りたいという提案がある。</p>		<p>実績</p> <table border="1"> <tr><td>・推進協議会</td><td>13 千円</td></tr> <tr><td>・先進地視察</td><td>23 千円</td></tr> <tr><td>・ひまわり植栽実証実験</td><td>44 千円</td></tr> <tr><td>・基本計画策定</td><td>459 千円</td></tr> <tr><td>・そり乗り場整備</td><td>495 千円</td></tr> <tr><td>・レンタル物品整備補助</td><td>1,200 千円</td></tr> <tr><td>・カラフル照明整備</td><td>1,859 千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>4,093 千円</td></tr> </table>		・推進協議会	13 千円	・先進地視察	23 千円	・ひまわり植栽実証実験	44 千円	・基本計画策定	459 千円	・そり乗り場整備	495 千円	・レンタル物品整備補助	1,200 千円	・カラフル照明整備	1,859 千円	合計	4,093 千円	  	
・推進協議会	13 千円																				
・先進地視察	23 千円																				
・ひまわり植栽実証実験	44 千円																				
・基本計画策定	459 千円																				
・そり乗り場整備	495 千円																				
・レンタル物品整備補助	1,200 千円																				
・カラフル照明整備	1,859 千円																				
合計	4,093 千円																				
事業目的		評価																			
「櫛引たらのきだいのスキー場」と「ほのかたらのきだいの」の機能を見直し、それぞれの施設の年間利用者を増加させること		<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場利用者の増加が見込まれる。 ・地域の活性化が図られる。 ・既存施設の有効活用や施設経営の健全化が図られる。 																			
事業内容		今後の方向性																			
<p>○春夏秋季 両施設が連携して自然体験教室等が実施できる週末や期間限定の施設として整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花畑、遊歩道、みはらし台の整備 ・自然体験学校などの実施 <p>○冬季 ファミリーや初心者向けスキー場を目指して整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者コースやそり乗り場の整備、リフトの整備、カラフル照明の整備、レンタル物品の整備 <p>○民間活力活用の検討 自然体験施設等との連携や冬季インバウンドの受入れなど</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・櫛引たらのきだいのスキー場 市街地に近いことやナイター照明が完備している利点を生かし、地域に根ざしたファミリーや初心者向けのスキー場であることを運営の柱に据えて健全経営を継続する。 ・ほのかたらのきだいの 現状を鑑みると、通年誘客のために多額の予算を投じて整備することは現実的ではないと判断し、今後も活用方法等を検討しながら運営することとする。 																			
上記の予定で進めてきたが、現状を鑑みると、通年誘客のために多額の予算を投じて整備することは現実的ではないと判断し、地域に根ざしたファミリーや初心者向けのスキー場としての整備を実施して、当事業は区切りをつけて完了することとした。なお、今後も活用方法等を検討しながら運営することとする。		R2完了																			

事業名	櫛引地域の情報発信事業（櫛引PR事業）	実施年度	R1～R2	事業種別	統合（完了） ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(1) フルーツの里づくりと観光連携	

背景・課題・住民ニーズ

○飛躍的に普及拡大しているインターネットは、発信できる情報量が豊富で、即時性や経済性、双方向性といった特性を持っている。特にソーシャルネットワーキングサービス（SNS）は、即時性及び経済性に優れており幅広い人々に情報発信が可能となる。

○ホームページやパンフレットは形式的であり、具体的な内容が伝わりづらい。

○櫛引地域外の人々が櫛引地域のタイムリーな情報について知る機会がほとんどない。

○KCTはあるものの櫛引・朝日地域のみでありそれ以外の地域に動画で情報発信はできていない。

事業目的

近年の情報発信の多様化により市民や観光客の情報入手方法はホームページやパンフレットのみだけでなく、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を利用したものが増えている。SNSでは写真を中心とした文字での情報を、動画を活用した情報が発信可能である。これらを利用し、SNS世代である若者を中心に櫛引のフルーツを中心として日常風景などを発信する。

事業内容

■SNS（facebook・instagram）の活用

- ・元年4月に立ち上げた「くしびきフルーツ日記」（R2年2月現在vol.58配信）において、静止画・イラストだけでなく果樹を中心とした作業や櫛引の日常風景などについて動画と連動した情報発信を行う。

本事業については、令和2年度より「くしびきフルーツ振興プロジェクト事業」に統合し、内容を強化しながら情報発信を継続することとした。

実績（評価）及び今後の方向性

実績

■ SNS投稿数 (単位:回)

	メイン	動画	ストーリーズ (品種紹介)	投稿先
R1年度	61	—	—	Instagram Facebook
R2年度	60	7	50	

Instagram Facebook Twitter

R3年度から、X(旧twitter)アカウントを開設予定

■ SNSフォロワー数 (単位:人)

	Instagram	Facebook	合計	備考
R1年度	313	225	538	R2.3.31現在
R2年度	652	305	957	R3.1.31現在

くしびきフルーツ日記の投稿例


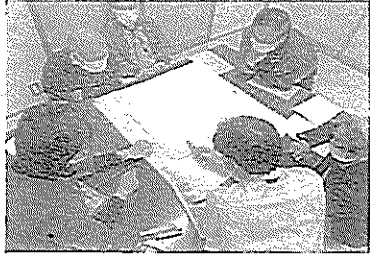
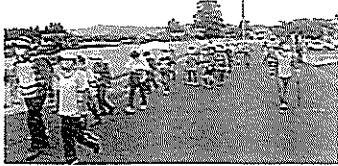

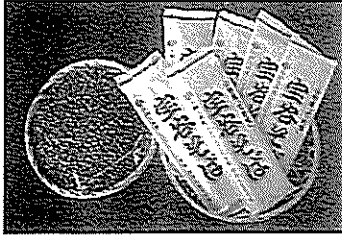
評価



- ・SNSによる情報発信の強化により、櫛引産フルーツの訴求効果が高まった。
- ・「くしびきフルーツ日記」が配信されることで、農家の生産意欲の向上につながった。


今後の方向性

- ・本事業については「くしびきフルーツ振興プロジェクト事業」に統合し、ブラッシュアップを図りながら情報発信を継続する。

フルーツ振興プロジェクト事業に統合

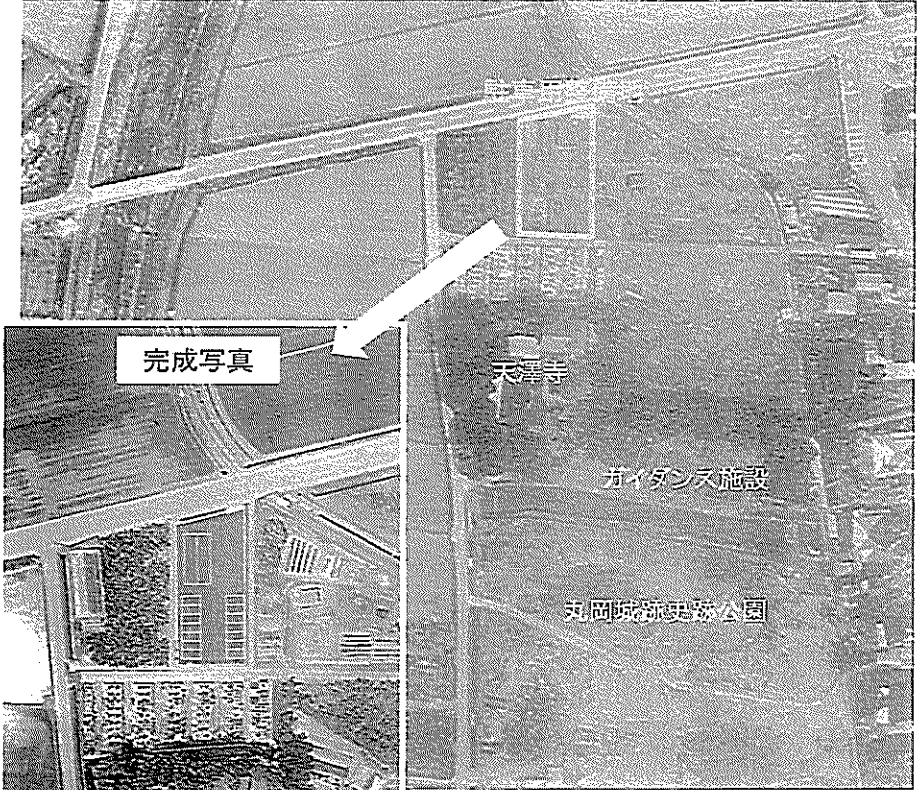
事業名	「でわ宝」で地域おこしプロジェクト事業	実施年度	R3～R4	事業種別	R4完了 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(1) フルーツの里づくりと観光連携		
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性			
<ul style="list-style-type: none"> 宝谷地区は「そば」を核とした地域づくりに取り組んでおり、「ふるさとむら宝谷運営管理組合」でそば店舗を運営しているほか、県産そば新品種「山形BW5号（宝谷では「でわ宝」として商標登録済）」の県内最大の産地となっている。 （作付面積：約33ha） 地区内人口が24世帯74名にまで減少、高齢化率も55.4%となり、（R4.3.31現在）住民同士の共助にも限界が見えている。 将来的な地域づくりを見据え、平成30年7月に「宝谷地区集落ビジョン」を策定。 新型コロナウイルス感染症の影響により、ソロキャンプ等のニーズが高まっており、キャンプ場利用者が増加傾向にある。 		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>案内看板設置 (R3年度)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>集落ビジョンのブラッシュアップ (R3年度)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>そばのお花見ウォーク (R4年度)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>キャンプ場照明整備 (R4年度)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>「乾麺」販売開始 (R4年)</p> </div> </div>			
事業目的					
<ul style="list-style-type: none"> 「宝谷地区集落ビジョン」の達成のために行う事業に対して支援する。 (1) 「宝谷そば」のブランド化（収益力向上、後継者育成） (2) 情報発信の強化（関係人口の増加） (3) 集落ビジョンのブラッシュアップ（集落の維持・活性化） (4) 宝谷キャンプ場等の地域資源活用事業の継続拡大 (5) 「でわ宝」を核とした地域活性化 					
事業内容		【評価】			
<p>宝谷地区地域資源活用事業補助金 [R3予算額：1,000千円] [R4予算額：935千円]</p> <p>【R3事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) そば関連商品の販売促進 (2) 地域資源活用促進のための環境整備（案内看板、キャンプ場整備） (3) 集落ビジョンの中間評価、ブラッシュアップのためのワークショップの開催 <p>【R4事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域資源活用のための環境整備（キャンプ場照明整備） (2) 「でわ宝」（玄そば、そば粉）の販売促進 (3) そば店舗集客力向上の取組み（遊歩道を活用したウォーキングイベントの実施） (4) 新商品「乾麺」のふるさと納税返礼品登録と販売促進 		<ul style="list-style-type: none"> 案内看板及び照明設備の整備により施設利用者の利便性の向上が図られた。 集落ビジョンのブラッシュアップにより達成に向けた機運の醸成が図られた。 玄そば及び乾麺の販売促進の取組みにより今後の収益の増加が期待出来る。 ウォーキングイベントの実施により、そば店の新たな顧客層にPRすることが出来た。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理やイベントの実施等について助言や協力を行い、引き続きそばを核とした地域づくり活動を支援していく。 			
		R4完了			


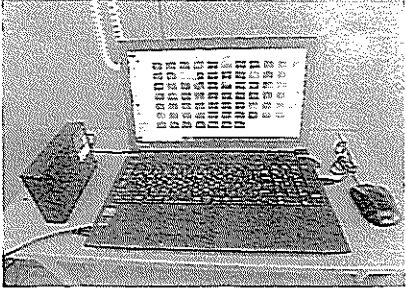
事業名	櫛引地域交通安全・防犯の日啓発事業	実施年度	R1	事業種別	完了 ソフト																																																																																															
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(3) 地域づくりの推進																																																																																																
背景・課題・住民ニーズ		実績(評価)及び今後の方向性																																																																																																		
<p>櫛引地域では昭和30年から、毎月一日を「町交通安全の日」と定め、地域住民や通過車両に交通安全を呼びかける目的で、町(市)で配布した黄色い小旗を家の入口や門柱に掲げて交通安全を啓発する運動を行っている。これは櫛引地域に深く浸透しており、地域独自の運動として現在まで継続しているものである。</p> <p>旗は最初の全戸配布から30年以上経過し、各地区からは旗の老朽化や紛失の声も多数寄せられたほか、配布後に地域に住み始めた家庭には配付されていない、地区によっては取り組み姿勢に差があるなどの課題があった。</p> <p>また、櫛引地域では夏の安全県民運動期間中や秋の交通安全運動期間において、立哨指導や「000(なしなしなし)作戦」などを鶴岡市防犯協会櫛引支部と連携して実施するなど、防犯活動にも積極的に取り組んでいる。</p>		<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月末に小旗を全戸配布。合わせて啓発用にチラシも配布。 全戸配布前の明るい地域づくり櫛引大会内で、小旗の贈呈式を行った。 小旗掲揚数調査を実施。(令和元年10月と11月、令和2年4月の計3回) 小旗と同様の内容でのぼり旗を作成し、各地区や事業所に配布した。 毎月1日は音声告知放送で住民に周知(令和2年度からは前日も放送)。 毎月1日は庁舎前にのぼり旗・小旗を掲揚。(荒天時を除き、前日夕方から掲揚) <p>(参考) 掲揚調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">3回目(2020.4.1)</th> <th colspan="3">4回目(2021.4.1)</th> <th colspan="3">5回目(2022.6.1)</th> <th colspan="3">6回目(2023.6.1)</th> <th colspan="3">7回目(2024.7.1)</th> </tr> <tr> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>比率%</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>比率%</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>比率%</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>比率%</th> <th>調査戸数</th> <th>掲揚戸数</th> <th>比率%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西地区</td> <td>718</td> <td>147</td> <td>20%</td> <td>726</td> <td>178</td> <td>25%</td> <td>727</td> <td>197</td> <td>27%</td> <td>725</td> <td>193</td> <td>27%</td> <td>723</td> <td>147</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>東地区</td> <td>248</td> <td>74</td> <td>30%</td> <td>265</td> <td>88</td> <td>33%</td> <td>263</td> <td>103</td> <td>39%</td> <td>253</td> <td>84</td> <td>33%</td> <td>247</td> <td>65</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>南地区</td> <td>321</td> <td>141</td> <td>44%</td> <td>328</td> <td>144</td> <td>44%</td> <td>355</td> <td>162</td> <td>46%</td> <td>323</td> <td>156</td> <td>48%</td> <td>316</td> <td>133</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>1,287</td> <td>362</td> <td>28%</td> <td>1,319</td> <td>410</td> <td>31%</td> <td>1,345</td> <td>462</td> <td>34%</td> <td>1,301</td> <td>433</td> <td>33%</td> <td>1,286</td> <td>345</td> <td>27%</td> </tr> </tbody> </table>				区分	3回目(2020.4.1)			4回目(2021.4.1)			5回目(2022.6.1)			6回目(2023.6.1)			7回目(2024.7.1)			調査戸数	掲揚戸数	比率%	調査戸数	掲揚戸数	比率%	調査戸数	掲揚戸数	比率%	調査戸数	掲揚戸数	比率%	調査戸数	掲揚戸数	比率%	西地区	718	147	20%	726	178	25%	727	197	27%	725	193	27%	723	147	20%	東地区	248	74	30%	265	88	33%	263	103	39%	253	84	33%	247	65	26%	南地区	321	141	44%	328	144	44%	355	162	46%	323	156	48%	316	133	42%	全体	1,287	362	28%	1,319	410	31%	1,345	462	34%	1,301	433	33%	1,286	345	27%
区分	3回目(2020.4.1)			4回目(2021.4.1)			5回目(2022.6.1)			6回目(2023.6.1)			7回目(2024.7.1)																																																																																							
	調査戸数	掲揚戸数	比率%	調査戸数	掲揚戸数	比率%	調査戸数	掲揚戸数	比率%	調査戸数	掲揚戸数	比率%	調査戸数	掲揚戸数	比率%																																																																																					
西地区	718	147	20%	726	178	25%	727	197	27%	725	193	27%	723	147	20%																																																																																					
東地区	248	74	30%	265	88	33%	263	103	39%	253	84	33%	247	65	26%																																																																																					
南地区	321	141	44%	328	144	44%	355	162	46%	323	156	48%	316	133	42%																																																																																					
全体	1,287	362	28%	1,319	410	31%	1,345	462	34%	1,301	433	33%	1,286	345	27%																																																																																					
事業目的		<p>交通事故・犯罪のない安全で安心な町を実現するため、これまでの「交通安全の日」の旗を新たに「交通安全・防犯の日」と改めて作成・配布するとともに、広報や音声告知放送などで改めて活動の趣旨を説明することで、櫛引地域の住民や通過車両に対して交通安全・防犯の意識を醸成する。</p>																																																																																																		
事業内容		<p>・新たに防犯啓発の内容も加えた「交通安全・防犯の日」の旗を作成し、R1.10月末に櫛引地域に全戸配布。</p> <p>・啓発チラシ全戸配布</p> <p>・R1.10.20に行われた明るい地域づくり櫛引大会では小旗の贈呈式を行ったほか、大会宣言に小旗掲揚運動の推進による意識高揚を盛り込み、一層の運動推進を確認した。</p> <p>・毎月1日は音声告知放送にて周知を行い、庁舎前にも小旗を掲揚する。</p> <p>・R2年度以降は、小旗の補充・交換分を庁舎に保管し、問い合わせに対応する。</p> <p>・R4年度の掲揚数調査では、掲揚数34%と調査を始めてから一番高い数値となった。</p> <p>・R5年度の掲揚数調査では、掲揚数33%と前年度に続く高水準となった。</p> <p>また、明るい地域づくり櫛引大会の代替活動として、櫛引地域内の一部事業所に向け、のぼり旗を配布し家庭だけでなく商店等にも改めて掲揚を依頼する啓発活動を行った。</p>																																																																																																		
		<p>調査方法 ※西・東・南地区から4地区ずつ、計12地区を対象に実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>更新後小旗掲揚の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>のぼり旗</p> </div> </div> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小旗更新後の令和元年11月1日調査では、更新前より掲揚率が全体的に増加した。(17%⇒30%) 掲揚率はほとんどの地区で増加したものの、地区によって差がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全や防犯など関係団体が協力して啓発を行う。 音声告知放送や広報を活用し、引き続き地域全体に周知・啓発を行う。 <p style="text-align: center; font-weight: bold;">R1完了</p>																																																																																																		


事業名	「空にかける階段」インフォメーション事業	実施年度	R1～R2	事業種別	完了 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(3) 地域づくりの推進		
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性			
<p>(背景) 櫛引地域出身の世界的彫刻家「富樫実」(名誉市民)の「空にかける階段」シリーズは、櫛引地域の富樫ロード(仮称)や櫛引庁舎を始め、市内では庄内空港、山形自動車道鶴岡IC、美咲町開発地、開運橋、千歳橋があり、国内外にも多数設置されており、その芸術的評価は京都市文化功労賞、紺綬褒章等を受賞するなど権威の高いものである。現在、氏の木製作品は、櫛引庁舎に数多く展示、公共施設や民間企業に貸し出しを行うことで気軽に目にし触れられる展示を行っている。</p> <p>(課題) 氏の作品については櫛引地域の各所に展示されているが、氏の人物像、功績、作品思想等の紹介が薄く地域住民より認知されていないという課題がある。</p> <p>(住民ニーズ) 櫛引観光協会をはじめ地域の富樫支援者では、氏の功績を広く知らしめ後世に伝え、また櫛引地域の芸術的シンボルとして「空にかける階段」を位置づけ、黒川能、丸岡城跡の観光資源に繋げたいという考えが以前よりある。</p>		<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者による懇談会開催 ・ロビー展示ケースへの作品展示 ・紹介パネルの作成及びQRコードから紹介映像へのリンク ・櫛引生涯学習センター内の各所への作品展示(ホール、ロビー、各会議室) 			
事業目的		ロビー(展示ケース)への作品展示等の様子			
<p>○世界的彫刻家である富樫実氏(名誉市民)の「空にかける階段」作品を紹介するブースを拠点として整備するとともに、市内各所に点在する氏の作品を観て回遊できる仕組みを作り氏の功績を広く伝える。</p>					
事業内容		評価			
<p>○名称 「空にかける階段」インフォメーションブース(仮称)</p> <p>○設置場所 生涯学習センター(ロビー)</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品紹介ブースの整備 ・氏の彫刻作品や作品思想の紹介パネルとYouTube映像の検討 ・市内各所に設置されている作品を回遊できる仕組みづくり。 ・拠点整備のための関係者懇談会の開催。 <p>上記の予定で進めていたが、施設改修を伴う展示を行うのではなく経費抑制などの観点から方向転換し、櫛引生涯学習センターへの作品展示、紹介パネル作成、QRコードからの市HP紹介映像へのリンクを実施し、当事業としては区切りをつけて完了することとした。</p>		<p>・QRコードからのリンクで紹介映像や富樫実ホームページの閲覧を容易にできることにより、市内各所にある石彫作品への見学者増が期待できる。</p> <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富樫氏の作品の貸し出し事業・櫛引生涯学習センターへの展示については、継続して実施。 			
		R2完了			

事業名	櫛引地域公共交通調査事業	実施年度	R3	事業種別	完了 ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(3) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性			
<p>これまで既存の地域公共交通を活かしながら地域公共交通網を構築してきたが、利用者の減少やバス路線から離れた地域では公共交通を利用できなかった。</p> <p>そのため、櫛引地域赤川右岸地区においてデマンド交通を導入したが、更なる交通利便性の向上のため具体的な調査・検討が必要な状況にある。</p> <p>また、市では、バス路線などの幹線については市の責務として維持に努めてきたが、利用者数の少ない路線の効率化も考慮する必要があり、庄内交通バス路線松根線の短縮された。</p>		<pre> graph TD A[鶴岡市 公共交通再編案 デマンド交通] -- 業務委託 --> B[調査請負業者 (コンサル) 調査分析] B -- 提案 --> A A -.-> C[住民交通事業者] B -.-> C C -.-> A C -.-> B </pre>			
事業目的		<p>住民の利便性と公共交通空白地帯を生まない持続可能な公共交通体系を確保するため再編調査事業を実施している。</p>			
事業内容		<p>1 これまで行われてきた調査事業の結果や路線分析などを活用し、市で計画してきた再編案についての検証と裏付けの調査等を専門家に委託した。</p> <p>2 デマンド交通実証実験運行等のデータを分析し、市民にとってより利用しやすい運行計画を提案。（報告 令和4年3月28日）</p> <p>※既存の交通網を含めた藤島・櫛引地域全体の地域公共交通再編の調査・提案等を業務委託したもの。</p>			
		R3完了			

※成果品については、令和4年3月下旬に受領し、デマンド交通構築の参考とした

事業名	丸岡城跡環境整備事業	実施年度	R2 (~R3)	事業種別	完了 ハード
		櫛引地域振興計画での位置づけ	(2) 歴史文化の継承と活用推進		
背景・課題・住民ニーズ		実績(評価)及び今後の方向性			
<p>○丸岡城跡史跡公園は、史跡復元の面的整備を平成21年度末に完了し、続けて、平成28年度にはガイダンス施設として武家住宅旧日向家を復元整備して、以降、2,000人を超える観光客を迎えている。</p> <p>○バス等での来訪やイベント開催時には、市道が狭く進入できなかったり、駐車台数が少なく利活用に支障をきたしていることから新たな駐車場整備を地元自治会や顕彰団体から強く求められている。</p> <p>○マイクロバス以上の大型車がガイダンス施設に進入できるよう市道の拡幅を要望されているが、事業費が高額になるため、駐車場整備で支障事項の解決を図るもの。</p>					
事業目的					
<p>丸岡城跡史跡公園を会場としたイベント開催時には、市道が狭くマイクロバスが進入できなかったり、現駐車場が狭いため来訪に支障をきたしている。</p> <p>新たに駐車場を整備し、大型バス等での来訪やイベント開催時の駐車を容易にして、地域資源の更なる利活用を図りながら、観光振興、交流人口の拡大、地域の活性化に資するとともに、地元の顕彰活動を通じ地域コミュニティの充実を図る。</p>					
事業内容					
<p>大型バス等での来訪やイベント開催時の駐車に支障をきたしていることから、史跡公園近辺に駐車場を整備するもの。</p> <p>○用地買収 [950㎡] R2年度完了</p> <p>○分筆登記業務委託 R2年度完了</p> <p>○測量設計業務委託 R2年度完了</p> <p>○駐車場整備工事 [乗用車14台、大型バス2台]</p> <p>上記のとおり、令和3年5月21日工事完了し、供用を開始している。</p>		<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を整備したことにより、大型バス等による来館の利便性が向上した。 ※令和4年度は酒井家庄内入部400年であり、関連する観光事業により来館者の増加が見込まれる。 <p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板やパンフレット整備など来館者へのサービス性向上を推進し、地域資源の更なる利活用を図る。 <p style="text-align: right;">R3完了</p>			

事業名	黒川能アーカイブ事業	実施年度	R1~R3	事業種別	完了 ソフト
		構引地域振興計画での位置づけ	(2) 歴史文化の継承と活用推進		
背景・課題・住民ニーズ		実績(評価)及び今後の方向性			
<p>黒川能は、黒川地区の2つの能座により500有余年もの間、連綿と受け継がれてきたが、近年の人口減少や少子高齢化の影響で、座加入の戸数および能役者が年々減少傾向にある。</p> <p>また、黒川能の囃子方は譜面ではなく口承による指導、稽古で、特有の伝承方法であることから、途絶えかけた演目もあるといわれ、正確に継承していくのが難しい。</p> <p>独特の謡や舞、所作、囃子が特徴である黒川能を継承していくには長い年月を必要とするが、勤務形態や生活環境の変化により、人材の確保および充分な稽古の時間を確保するのも難しくなっており、保存伝承が危ぶまれている。</p> <p>これまで上演された演目や演奏が収録されているものがあるが、VHSやMD等媒体が古い再生機器もなく、活用されていない状況である。</p>		<p>【実績(事業全体)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VHS等映像のDVD化 130本 ・MD等音源のCD化 96本 ・謡、囃子の新規録音曲数 11曲 ・既存DVD複写作成 113枚 ・貸出用ディスク作成 ・貸出体制の整備(貸出要綱制定、貸出ディスク用ラック整備) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化した映像や音源のデータは外付けハードディスクに保存しており、平成25、26年度に整備した能面装束の写真図譜データとともに将来的な保存伝承のため管理していく。 ・収録したディスクは、令和4年度から能役者や学校関係に貸出を行い、実際の稽古や伝統芸能の学習等に利活用していく。 <p>また、年次的に一般住民にも鑑賞用として広く貸し出しできるように、貸出体制について引き続き検討していく。</p>			
事業目的					
<p>既存映像のデジタル化、加えて囃子方等の演奏を撮影収録し、デジタル音源として記録保存することで、伝統芸能の継承を図る。</p> <p>また、記録したDVD、CDを両座の能役者や、学校関係者等に貸出を行い、実際の稽古や伝統芸能の学習等に利活用する。</p>					
事業内容					
<p>【R1年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VHS映像のDVD化 102本 ・MDのCD化 47本 <p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VHS等映像のDVD化 28本 ・カセットテープ等音源のCD化 37本 <p>【R3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謡、囃子の新規録音 11曲 ・カセットテープ等音源のCD化 12本 ・既存DVD複写作成 113枚 ・貸出用ディスク複製作成 ・貸出体制の整備(要綱様式、リスト、ディスク用ラック) 					
各年、検討委員会開催(年2回)		R3完了			

<p>事業名</p>	<p>櫛引綴れ織り文化保存事業</p>	<p>実施年度</p>	<p>R1~R4</p>	<p>事業種別</p>	<p>完了 ソフト</p>
		<p>櫛引地域振興計画での位置づけ</p>		<p>(2) 歴史文化の継承と活用推進</p>	
<p>背景・課題・住民ニーズ</p>		<p>実績(評価)及び今後の方向性</p>			
<p>背景 高名な錦綴れ織り工芸家の遠藤虚籟が丸岡に所在する天澤寺にて制作を行っていた時期があり、故人の遺志により虚籟綴錦織曼荼羅糸塚が建立されているなど縁が深い。また遠藤虚籟の技と魂を現代に伝える「手織りや虚籟庵」が公園に隣接する羅漢閣(一部が公園の案内所)で錦綴れ織りの製作活動を行っている。</p> <p>課題 ・糸塚など丸岡地域と遠藤虚籟との縁や綴れ織り工房である虚籟庵の認知度が低い。 ・綴れ織りの製作者が少なく、高齢化しているが後継者が不在。</p>		<p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R1、R2 案内所のレイアウト 展示資料の内容検討した。 ・ R3 丸岡城跡史跡公園の案内所に綴れ織り作品や説明パネルの展示スペースを整備した。 ・ R4 遠藤虚籟と錦綴れ織りに関するパンフレットを製作し鶴岡市内の観光施設などに設置した。 <p>シルクミライ館に櫛引の綴れ織りに関する資料を展示した。綴れ織り製作の体験イベントを実施した。</p> 			
<p>事業目的</p>					
<p>・ 故遠藤虚籟の顕彰、思想を受け継いだ錦綴織作品の継承、錦綴れ織りの情報発信等を通じて伝統工法を継承と交流人口の増加を図る。</p>					
<p>事業内容</p>					
<p>顕彰会が行う故遠藤虚籟の顕彰と綴れ織りの展示・体験、情報発信活動に対する事業補助を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 虚籟庵の模様替え (R3) <ul style="list-style-type: none"> ・ 丸岡城跡史跡公園の休憩所・接客通用口部分の模様替え ・ 故遠藤虚籟や作品のパネル設置等 ・ 綴れ織り商品の展示、販売 ・ 織り機の展示、綴れ織り体験の実施 2. 情報発信 (R3~R4) <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠藤虚籟・綴れ織り作品のパネル・パンフレット作成、設置 3. 錦綴れ織りの製作体験等による入門者の掘り起こしイベントの実施 		<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 案内所を改装し、展示物を充実させたことで遠藤虚籟と櫛引の綴れ織り等丸岡城址の魅力をより効果的に紹介できるようになった。 ・ 鶴岡市内の文化・観光施設への来訪者に遠藤虚籟や綴れ織りに対する関心を喚起し丸岡城跡への誘客を図ることができた。 ・ シルクミライ館での資料展示や錦綴れ織りの製作体験イベントの実施により、櫛引の綴れ織りや虚籟庵の活動に関する情報発信を行うことができた。 <p>以上により交流人口増に資する施設整備・情報発信体制が構築できたため補助事業者と協議の上事業完了とした。</p>			
		<p>R4完了</p>			

事業名	櫛引ゆかりの偉人展示会開催事業	実施年度	R6	事業種別	継続 ソフト・事業補助
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(3) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		実績(評価)及び今後の方向性			
<p>市(櫛引庁舎)に寄贈された偉人の作品等が人目に触れることなく埋もれていることから、それらの作品等を展示すると同時に、フルーツ等地域の魅力を広く発信することによって、櫛引地域ゆかりの偉人への理解が深められるとともに、櫛引地域の観光施設への誘導の機会を創出が必要である。</p>		<p>① 偉人(作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富樫実(とがしみのる) 1931~2019 ⇒彫刻家 ・森田茂(もりたしげる) 1907~2009 ⇒洋画家 ・遠藤虚籟(えんどう きょらい) 1890~1963 ⇒綴錦織工芸会の第一人者 ・横網柏戸(よこづな かしわど) 1938~1996 ⇒第47代横網 <p>② 観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルーツ(産直めぐり、観光果樹園、フルーツ狩り体験など) ・黒川能(王祇会館、春日神社、水焰の能、王祇祭など) ・丸岡城跡史跡公園(天澤寺、加藤清正公墓碑、虚籟庵など) ・柏戸記念館(相撲大会)、ゆ~Town(日帰り温泉) ・ふるさとむら宝谷(宝谷そば、キャンプ場など) ・たらのき代スキー場(冬期) 			
事業目的		<p>○ 櫛引ゆかりの偉人展示会(第40回水焰の能と同時開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催期間 8月9日(金)~11日(日) ○会場 荘銀タクト小ホール(エントランス) ○入場料 無料 約300人來場 <p>● 観光施設への誘客策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「通称」富樫実ロードの紹介パネルと、温泉の紹介とキャラクターグッズも展示。 ・森田画伯の絵画は黒川能関連の作品と一緒に展示。王祇会館のパンフを配置。 ・遠藤虚籟の下絵展示で、丸岡城址史跡公園や楽朋館等関連施設も紹介。 ・フルーツ多品種栽培をカレンダーにして来場者へ配布。 ・フォトラリーでは9名応募があり全員に賞品を贈呈。 <p>● 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者アンケートで、とても良かった、今後も機会があればまたやってほしい等好評が得られた。 ・作品や遺品が埋もれることなく、市内はもとより県内外の方たちに認知を広げることができたので、展示会は成功であったと思われる。 <p>● 今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会用に作成したパネル等を、11月のくしびき文化祭において一部展示出来た。 ・今後も、機会があれば作品等を展示して櫛引ゆかりの偉人等を広めていく。 ・作品リストも、その由来等を含めまとめていく。 			
事業内容		<p>鶴岡市(櫛引)ゆかりの偉人の作品や櫛引地域の観光資源を一堂に展示・紹介して、県内外に広く鶴岡市(櫛引地域)の魅力をPRする。</p> <p>偉人の作品(寄贈品)について、後世に引き継ぐ機会と捉えて、その由来を明らかにする。</p> <p>鶴岡市(櫛引)にどのように根付いているかストーリー性を持たせて展示することで、作者(偉人)と作品に関心を持ってもらう。</p> <p>*第40回水焰の能記念事業と同時開催する。(県内外の観光客に広く周知され、観光振興につながる)</p> <p>○展示作品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富樫実氏 彫刻 13点 ・森田茂氏 絵画(油彩・デッサン) 8点 ・遠藤虚籟 綴織りの下絵 1点(関連作品も検討) ・横網柏戸 化粧まわし等 13点程度 <p>○その他 フォトラリー(櫛引地域の観光施設等)など</p>			
		R6完了			

事業名	櫛引地域いきいき健康活動拠点運営への支援事業	実施年度	R2～R4		事業種別	完了 ソフト																																			
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(3) 地域づくりの推進																																					
背景・課題・住民ニーズ		実績（評価）及び今後の方向性																																							
<p>平成29年度までは、地区公民館等の施設を使用しながら概ね65歳以上の高齢者を対象に、語らいや交流、運動や健康づくりなどを通じて、閉じこもり・認知症などの予防と要介護状態にならないことを目的として、櫛引地域の多くの地区でいきいき健康クラブ運営事業（介護予防事業）が実施されていた。</p> <p>現在は、介護保険法の改正に伴い、市全域で長寿介護課が所管する「地域介護予防活動支援事業」に移行し、年間を通して定期的に運動（体操）を取り入れることで、高齢者の基礎体力・筋力アップを図ることで介護予防の効果を高める内容に見直されている。</p> <p>このため、いきいき健康クラブ運営事業とは取り組み内容が大きく異なっているため、従来の事業を代替するには至っておらず、移行を断念し高齢者同士の交流や語らいなどの機会を失っている地区も一部ある。</p> <p>なお、住民自治総合交付金の見直しにより、地区の判断で自由に活動できる財源が多少なりとも交付されている。</p>		<p>※未来事業としての位置づけは完了したが継続する</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1339 252 2085 411"> <tr> <td colspan="4">健康づくり、介護予防、閉じこもり予防、生きがい・絆を深める活動</td> </tr> <tr> <td colspan="4">体操・軽スポーツ・レクリエーション・創作・芸術・研修・学習施設等</td> </tr> </table> <p>・「お役立ち講座」リスト</p> <table border="1" data-bbox="1339 456 2085 655"> <tr> <td>令和2年度</td> <td>R3.3.</td> <td>初版</td> <td>90部</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>R3.12</td> <td>改訂第2号</td> <td>160部</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>R4.10</td> <td>改訂第3号</td> <td>160部</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>R5.10</td> <td>改訂第4号</td> <td>160部</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>R6.10</td> <td>改訂第5号</td> <td>160部</td> </tr> </table> <p>・配布先</p> <table border="1" data-bbox="1339 703 2085 826"> <tr> <td>・櫛引地域21地区</td> <td>・社会福祉協議会 櫛引</td> </tr> <tr> <td>・櫛引地域通いの場他活動団体</td> <td>・櫛引生涯学習センター</td> </tr> <tr> <td>・櫛引地域婦人会</td> <td>・櫛引地域老人クラブ</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>・リスト配布は、地域の各種事業の企画等情報提供のため継続する。</p> <table border="1" data-bbox="1339 906 2085 986"> <tr> <td>高齢者が住む地区の中に、気軽に歩いて参加できる活動の場（活動拠点）の継続設置や新規開設へつなぐ</td> </tr> </table> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象として関係機関や個人等が実施している様々な分野の講座メニューや、その申し込み先などをわかりやすく一覧で整理・配布し、事業実施をサポートできた。 ・各種団体の要望や反響を受け、リストを広く配布したことにより、各種活動への意欲や関心が高まる効果が得られた。 <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域介護予防活動支援事業【長寿介護課】 ・いきいき百歳体操講座【長寿介護課】 ・生涯現役推進事業（なり元気塾）【市社協事業】 ・福祉活動支援事業（サロン活動）【市社協事業】 ・その他【地区単独事業】 					健康づくり、介護予防、閉じこもり予防、生きがい・絆を深める活動				体操・軽スポーツ・レクリエーション・創作・芸術・研修・学習施設等				令和2年度	R3.3.	初版	90部	令和3年度	R3.12	改訂第2号	160部	令和4年度	R4.10	改訂第3号	160部	令和5年度	R5.10	改訂第4号	160部	令和6年度	R6.10	改訂第5号	160部	・櫛引地域21地区	・社会福祉協議会 櫛引	・櫛引地域通いの場他活動団体	・櫛引生涯学習センター	・櫛引地域婦人会	・櫛引地域老人クラブ	高齢者が住む地区の中に、気軽に歩いて参加できる活動の場（活動拠点）の継続設置や新規開設へつなぐ
健康づくり、介護予防、閉じこもり予防、生きがい・絆を深める活動																																									
体操・軽スポーツ・レクリエーション・創作・芸術・研修・学習施設等																																									
令和2年度	R3.3.	初版	90部																																						
令和3年度	R3.12	改訂第2号	160部																																						
令和4年度	R4.10	改訂第3号	160部																																						
令和5年度	R5.10	改訂第4号	160部																																						
令和6年度	R6.10	改訂第5号	160部																																						
・櫛引地域21地区	・社会福祉協議会 櫛引																																								
・櫛引地域通いの場他活動団体	・櫛引生涯学習センター																																								
・櫛引地域婦人会	・櫛引地域老人クラブ																																								
高齢者が住む地区の中に、気軽に歩いて参加できる活動の場（活動拠点）の継続設置や新規開設へつなぐ																																									
事業目的																																									
<p>高齢者の健康維持、生きがいづくり、閉じこもり予防のために各地区が自主的に取り組む活動を支援するため、各種講座・研修を企画するにあたり参考になる講座メニューやその申込先をわかりやすく一覧にまとめたリストを作成・配布する。</p>																																									
事業内容																																									
<p>各種講座・研修を企画するにあたり参考になるリストを作成するとともに、各種事業の情報提供をしながらサポートを行っていく。</p> <p>①情報の収集 ②提供メニューの検討・照会 ③リストの作成・配布 ④情報提供・事業啓発 ⑤地区が行う事業のサポート</p> <p>また、活動ができていない地区および継続が困難な地区については、意見交換等により情報収集を行い、施設見学を共同で行う事業について検討を行ったが、予算・安全の両面から移動手段の確保等が困難であり、共同開催による解決は難しいとの結論に至った。</p> <p>地域への帰属意識の低下や高齢化の進行に伴い、これからの高齢者活動はますます難しくなっていくことが予想される。高齢者の孤立化や心身のフレイルを防止する等、老人クラブや各種高齢者団体の果たす役割は重要であることから、今後も高齢者活動のあり方についての検討や各種の支援、相談について継続していく。</p>		<p>R4完了（未来事業の位置づけとしては完了）</p>																																							

事業名	櫛引地域希少淡水魚保存事業	実施年度	R1～R4	事業種別	組替え ソフト
		櫛引地域振興計画での位置づけ		(3) 地域づくりの推進	
背景・課題・住民ニーズ		実績(評価)及び今後の方向性			
<p>希少淡水魚イバラトミヨの保存は、櫛引町時代の平成6年から継続しているものである。</p> <p>当該イバラトミヨの生息池がある板井川地区では、平成20年に地元有志によって、「板井川イバラトミヨを守る会」が設立され、地域の宝として生息池の清掃や周辺の草刈りなど、地域ぐるみで希少淡水魚の保全に取り組んでいる。</p> <p>また、山形県では平成30年度にレッドリストを改定し、当該イバラトミヨは準絶滅危惧種から絶滅危惧IB類に指定されており、希少性が増している。</p> <p>以上のことから、希少淡水魚イバラトミヨの保存を継続する必要がある。</p> <p>令和4年度に2回、生息池の汲み上げポンプ井戸周辺が陥没し、地下水汲み上げ量が減量しており、令和5年度に井戸と水中ポンプの修繕及び陥没埋め戻しを行った。令和7年度も引き続き生息環境を整え、希少淡水魚の保全を行うとともに飼育展示等を始めとした情報発信を継続する。</p>		<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> イバラトミヨ生息池の借上契約を行った。 令和元年から櫛引生涯学習センターにて約1ヶ月の飼育展示を実施。 令和6年度は5月から約1ヶ月櫛引生涯学習センターにて飼育展示を実施した。 市ホームページにてイバラトミヨについての記事を掲載した。 <p>【参考写真】</p> <div data-bbox="1189 531 1525 791" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">令和6年度飼育展示</p> <div data-bbox="1637 531 2063 1102" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">HP掲載記事</p> <div data-bbox="1189 890 1525 1145" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">イバラトミヨの様子</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度から通常予算(環境課予算)へ組替えとなったが、事業内容は今後も継続して行っていく。 公共施設での展示や、小学校へ引き続き働きかけや学習内容に関する情報提供を行うなど、環境学習の情報発信を強化する。 			
事業目的					
<p>絶滅危惧種である希少淡水魚(イバラトミヨ)の種の保存活動を地元組織と連携をとりながら継続していくことが地域の環境保全につながるものとして、生態系保全や環境保護の機運醸成を図る。</p> <p>また、公共施設での展示や地域の小学校にも働きかけを行うなど、地域の目玉として情報発信を行うことで地域の活性化にもつなげていく。</p>					
事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> イバラトミヨの生息池借上 ポンプ設置用地借上 地下水汲み上げポンプの電気料負担 情報発信の強化(生息池が特定されない範囲で行う) 公共施設でイバラトミヨを飼育展示するとともに学校などと連携した活動の実施 					
R5から通常予算(環境課予算)へ組替え					

事業名	櫛引地域デマンド交通導入事業 (R7組換)	実施年度	R1~		事業種別	完了 ソフト																																										
		櫛引地域振興計画での位置づけ			(3) 地域づくりの推進																																											
背景・課題・住民ニーズ		実績(評価)及び今後の方向性																																														
<p>○高齢化や運転免許返納の増加により、日常生活に必要な移動手段を持たない人が増加してきているため、移動手段を確保する必要がある。</p> <p>○高齢化率の比較 (R6. 3. 31現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>鶴岡市</th> <th>櫛引地域</th> <th>櫛引東地区</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37.0%</td> <td>40%</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td>43,292人</td> <td>2,605人</td> <td>1,015人</td> </tr> </tbody> </table>		鶴岡市	櫛引地域	櫛引東地区	37.0%	40%	48%	43,292人	2,605人	1,015人	<p>【実績】</p> <p>①利用拡大事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無料体験利用券の配布 ・周知チラシ配布 <p>②運行計画の見直し・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者意向調査・運行内容の検証の実施 ・運行時間の変更(路線バス乗継連携) ・前日予約から当日予約へ ・隔日運行から一部連日運行へ ・市街地乗入れ(サウスモールみーな) R7. 4. 1予定 																																					
鶴岡市	櫛引地域	櫛引東地区																																														
37.0%	40%	48%																																														
43,292人	2,605人	1,015人																																														
事業目的		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録人数</th> <th>利用台数</th> <th>利用者数</th> <th>運行費</th> <th>運賃</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>台</td> <td>人</td> <td>円</td> <td>円</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3年度実績</td> <td>66</td> <td>67</td> <td>88</td> <td>1,093,775</td> <td>30,900</td> <td>R3. 11. 18~</td> </tr> <tr> <td>R4年度実績</td> <td>81</td> <td>414</td> <td>634</td> <td>3,038,376</td> <td>87,600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5年度実績</td> <td>82</td> <td>467</td> <td>674</td> <td>3,255,285</td> <td>119,200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6年度見込</td> <td>83</td> <td>510</td> <td>704</td> <td>3,832,983</td> <td>139,200</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						登録人数	利用台数	利用者数	運行費	運賃	備考		人	台	人	円	円		R3年度実績	66	67	88	1,093,775	30,900	R3. 11. 18~	R4年度実績	81	414	634	3,038,376	87,600		R5年度実績	82	467	674	3,255,285	119,200		R6年度見込	83	510	704	3,832,983	139,200	
	登録人数	利用台数	利用者数	運行費	運賃	備考																																										
	人	台	人	円	円																																											
R3年度実績	66	67	88	1,093,775	30,900	R3. 11. 18~																																										
R4年度実績	81	414	634	3,038,376	87,600																																											
R5年度実績	82	467	674	3,255,285	119,200																																											
R6年度見込	83	510	704	3,832,983	139,200																																											
<p>○櫛引の赤川右岸地域全体のデマンド型の公共交通を継続し、高齢者等の交通手段を持たない住民の日常生活を支援するとともに交通空白域を解消する。</p> <p>○櫛引の赤川右岸地域におけるデマンド交通(会員制タクシー)を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11月18日 実証実験運行開始 ・令和6年11月18日 本格運行開始 		<p>【評価】</p> <p>利用拡大事業、運行計画の見直し(改善)により、登録者数及び利用者数の拡大が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録人数比 (R6/R3) 1. 26倍 ・利用者数比 (R6/R4) 1. 11倍 ・利用台数比 (R6/R4) 1. 23倍 																																														
事業内容		<p>【今後の方向性】</p> <p>利用者拡大、運行内容の検証・改善への取組みを実施し、効率性かつ利便性の高いデマンドタクシーの継続的な運行を図っていく。</p>																																														
<p>○利用者の予約に応じて運行するデマンドタクシーの通年運行</p> <p>赤川右岸地域(自宅から)と赤川左岸の医院・商業施設・公共施設と市街地(みーな)など13箇所の間を運行</p> <p>梳代ルートと宝谷ルートを1日おきに運行(黒川地区は両ルート共用)</p> <p>運行便数は、午前2便(1往復)、午後2便(1往復)</p> <p>運賃は、1回300円~500円</p> <p>○デマンド交通の運営主体である櫛引地域デマンド交通運営協議会へ支援</p> <p>○運行内容の検証・改善(運行計画変更)</p> <p>○啓発活動等による利用拡大への取組</p> <p>※R7. 4. 1から市街地(サウスモールみーな)乗入れを開始(予定)</p>		<p>R7から通常予算(地域振興課予算)へ組替え</p>																																														